



遊仙窟鈔

遠21
322
/

遠21
322
1



門 遠
號 322
卷 1

唐張文成著

日本學士伊時點

翻刻不計

遊仙窟鈔

我本朝ニテ小説ヲ譯解スルハ此書ヲ以テ始祖トス 嵯峨天皇ノ時伊時ナルモノ神仙ノ訣ヲ得テコレヲ解スト云リ小説必讀ノ書也 群鳳堂發兌

遊仙窟鈔序

蓋文章所載道而之

後世矣其文也猶存乎

人其人感則必含毫焉

古之心愛矣遐不謂矣



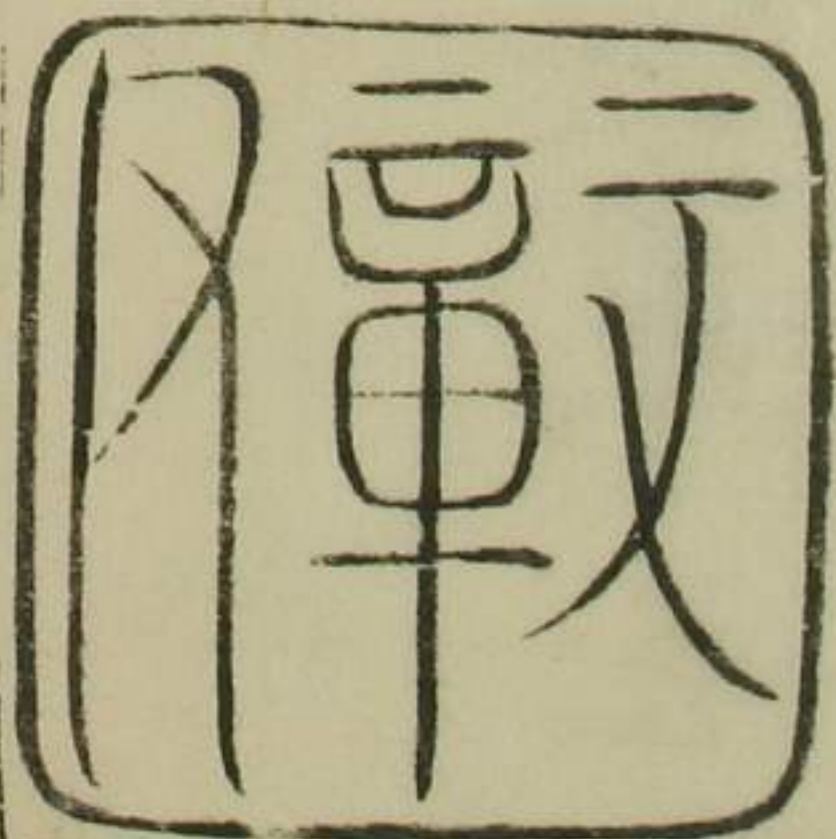
遊仙

卷一

良有以也。茲洛陽之一指
者嘗文若深才多用是
標舉此文幽玄於驚詭
及引句中之難解分爲
五卷也。一便初學之幸

讀一以贈弊近世於俗學
文士令人有懷古之情乎
閱之文極當句清巧
自吟自賞不覺加以砂
礫所慙寡陋而予爲

有書
遊仙窟序
○二
笑子資貝^{シヨウ}笑^ニ談^ノ之一^ニ喙^ヲ鳥
昔元祿三年春三月東海散
人書^ス于^ニ休^ニ亭^ニ



遊仙窟序

一曰南浦出鱗尾披崑海^ノ出
式卷曰聞此是張子之汚於女
全出黃裳而託言於悠窟者也
觀其文義自如有為者雖賦難

解之字在目而眾通心口含荊
棘舌不堪勤譜以和字註出可
余曰螻蟻豈知鵬翼出疾翡翠
疑之鳳之不常未知燕麟皮而跖
文家出骨裁拒之不聽余曰心

窟自古稱難讀祕契口授恐不
能解是猶真蓬之予未觀麗而
稱國吏卿今也所鈔者應解尾
止需非公論竇私言而已

告

元祿三庚午季初春五弦一括
無方群眼書

寶璽

嵯峨天皇書卷之中撰得
遊仙窟ヲ召テ紀傳儒者ヲ欲ス傳
受也諸家皆無傳學士伊
時深愁歎于時木島社頭
林木鬱々ク之所ニ燒キ木ヲ結テ草ヲ
有老翁閉テ兩眼ヲ常誦之問

有書

在由寫後

〇五

讀遊仙窟云云也。伊時聞
 及。潔齋七月。整理衣冠。慎
 引陪從參詣翁所。誰來荅
 曰。唯々跪申為得遊仙窟
 所參也云云。翁曰。我幼少
 自忝受此書。年闌倦事。僅

所學誦而已。重申願教此
 書。僕苟侯王家。居學士之
 職。少幼暗文。無讀垂哀矜
 翁諳讀之。伊時付假名讀
 一帙。畢還歸之後。送種種
 珍寶。菴跡異香郁々。無其

跡其後感書幾乎大明神
為化現耳。

文保三年四月十四日授

申圓禪菴序畢

文章生英房

①積石トツケレ山ハ山海經ニモ金城ノ郡河漢トイヘル縣ノ西南

ニアリト云リ。說ニハ繼州ト云クニ北龍門トイフアカタニアリ。黃河トイヘル河ノ上リヨリ洛ヲナルコト四百里上洛水トテコレモ川ノ名ナリ。金城ノ郡ハ京師ノニニアリト。京師ハスナチ洛陽。マコナリ。ソノ金城ノニミナニニアツテ。積石山アリトナリ。西南トイヘ。ニトモニトモ。ヒトカタニカタツカヌヤウニ。キコユレトモ。畢竟ハヒツジナルノカタヲイフナレハ。西南ヲ

遊仙窟卷一

寧州 屬關内道。在去京襄

樂縣尉張文成作

若夫積石山者。山。海經曰。積石。在金城郡

河關縣西南。羌中。河水行塞外。東北入塞内。一說云。在繼州北。龍門縣。從黃河。在上。去洛四百餘里。在。乎。金

城西。南。漢書曰。金城郡。在京師之西。一說云。山名

スグニヒツシサルトヨニセタリ。西ト南トノアワイト心得ユヘシ。東南ノカタトイヘガツツエノカト心得ルガコト也。東小西小ナト、イヘルモ。此ノ例ニテ心得ヘシ。金城ヲ一説ニ山ノ名トモハシリ。積石山ノ東北ニアリトナレバ、積石山ハ金城ノヒツシサルカタニアタレリ。東北ノウシトヲノスミノムカフハヒツシサルカナタヨリイフモ、ゴナタヨリイフモヲナシコトナリ。前ニイフコト名積石山ハ金城ノ地ノカタニア

在積石山東北也。河所經也。書云導河積石。至于龍門。尚書曰。浮于龍門。山在河東之西。即此山是也。僕從河隴。尚書曰。導河安國曰。河岐二山名。在隴州。隴者。隴州也。河音枯田反。一説云。皆山名。在隴州也。夫蒙曰。岍山名。隴州是。今與秦州接。魯河之水名。今隴州有河之源縣也。奉使河源

タル河ノフルトコロナリ。河トハ瀨遠シテ。黃河ト名付ナカレシナカクシテ。汎ノワカレイロクニ各ツケタリ。此カハノナカレハ。積石山ノフモトヲ經行トナリ。書ニイハクトハ。只今尚書ノ禹窮ノ篇ノ文ヲヒイテ。證拠ニトルナリ。尚書ニ云ク。積石ニ浮。龍門ノ西ニ至ルトイヘリ。孔安國モ龍門山ハ。河東ノ西ニアリト注セリ。此山是トコレニテガ此ノ文ノ證拠ナリ。尚書ニイヘルトコロノ河ヲ導コト。積石ヨリ。龍門トカヤウニ取ヲタシク證拠アキラカニイヒタル心ハ畢。竟張丈成女神文ニ

河之源軍也。在隴右。一説云。河黃河也。源水所發源。運命之逆。遭如乘馬。班如。王弼曰。逆難之時。正道味行。與初相逆而不相得。困於侵害。故逆遭。逆之時方逆難。正道未通。涉遠而行難。可逆進。故曰。乘馬班如也。逆音陟倫反。遭音張連反。一説曰。易逆卦。曰。逆如。遭如。言逆蒙不通。道甲也。此文成。歎運命未遇也矣。

遼テチキリレ処ハ此ノ処ナリトツ積石山ノ夏ヲ魁イフナルヘレ○僕従ハ
 ヤツガリハ僕ノ字。僮僕トテ人ノツカワレモノヲイヘリ。僮ハヤツゴ僕ハヤツガリ
 ソノ品下部トヲナシ。今張文成が我身ヲ早下レテヤツガリトイフナリ○ハ源
 尚書ニ導源及岐。弘安國カイハク。源岐ハ二ノ山名。雍州トイフクニ、アリ。隴ト
 ハ隴州トテクニノ名ナリ。源ハ音格由ノカヘダキツテ、ガキクケケント。カハナリ。夫
 蒙カイハク。岷ハ山ノ名。隴州ハ是今ノ秦州ト。界ヲミシ。源ハ水ノ名。今隴州ニ源
 源縣アリトナリ。夫蒙カ説ニヨラ、三水ノ源ノ字ハ水ノ名ニトレリ。山片ノ岷ノ
 字ハ山ノ名トイヘリ。今隴州ニ源縣トイフアガタアレバ、源隴トハツケタル
 ナリ。張文成が隴州ノ源縣ニレタガヒイタリテ。河ノモナモトニテ、オヨフナリ。積
 石山ハ河ノ経トコロトイヘルコトヲモヒアハスベレ。河源トガカゲンハ隴トニアリト。
 隴州ノ右ニアタレリ。右トハ西方ナルヘレ。説ニ河トハ黄河ナリ。源ハ水ノ発スルコ
 川上ナリ。黄河ノ川上ニテ。今張文成が軍使ヲウケタマハリテユクナリ。積石
 ハ河ノフルトコロトイヘ。隴右河源ニユケルツツノ行路ヲコトハリテ、ヨリ其地ノ景
 氣ヲノブルナリ○運ハ天運命ハ天命ニレテ我ナスワザニアス。天運自他ノ命

トコロナリト也。遼ハ騎ニ遊如タリ。遼如タリ。乘馬如タリトアリ。王弼カイハ、
 遼難之時正道未行。与初相也。而不得。困於侵害。故遼遼。遼時友遼
 難。正道未通。涉遠而行。難。可以進。故乘馬如也。遼音涉。倫及。ナリ。
 タチ。チユンナリ。遼ハ音振連及。ナリル。タチツテ。テナナリ。今文成カ軍
 使ノ役ヲウケタマハルコト。天命トハイヒナカラガマウニ萬里ノトヲキ國。ナリ
 ナガレキ。必コトヲユエテ。アヤウキ命ヲ猶軍門ニカクルコトニコトニ遊難ノ時
 ニアラスマ。サレバ馬ニノツテ。班如トワカレク。ヲモヒカナレカラ。サランヤ云
 騎ノ屯ノ卦ニ遊如タリ。遼如タリト。言ハ遼蒙ニレテ。不通。遼申。此文
 成カ歎。運命ノ未遇トイヘリ○漢漢書ニ。漢使張騫トイヒシ人。河源ヲ窮
 其ノ山。玉石ヲホレテ。採来。天子古圖書ヲ按スルニ。各河ノイツルトコロノ山
 ハ崑崙也。一ニ云。漢書ニ張騫使ヲ奉テ。アニ子ク西域ノ諸國ニ通ス。封
 レテ。為博望侯也○匈奴匈奴ノ助。遂ヲ歎トハ。今張文成運命ノウチ。ハマ
 キユニ。使ヲ河源ニ承リテ。匈奴ノ関モ。眇。遂ノアトニ。ミナレ。ユトヲナケキ。
 ムカレ。漢ノ代ノ事カトヨ。張騫トイヒシ人モ。今ワカコトクイトモカレキ。

劫ノ奉テ西域五天竺ヲア
 三子ク。歴巡シカバ。河源ヲキ
 ワムルフルキアトテ今又ハル
 カニワケエケハ十万里程ノ
 波路ナリ。又ムカシ張騫カ古
 迹ハ是。十萬里ノ波路トヲ名
 キニケルコトヲ感スル心ナルヘシ
 帝王世記ニモ。禹トイヒレ
 人。洪水ノ水ノ洪天下ニミナテ
 民耕作ノ害ヲナスヲ治ラレ
 山ヲホリ河ヲ通ス其時三カ
 上堯王其績ヲ羨メタニコレ
 姓ヲ如氏トタニコレ伯禹
 ト為タニフナリ。故ニ禹ノ旧セキ

歎^① 卿^② 關^③ 之 眇^④ 邈^⑤ 張騫^⑥ 古^⑦ 迹^⑧ 書
 目。漢ノ使張騫窮^⑨ 河^⑩ 源^⑪。其^⑫ 山^⑬ 多^⑭
 王^⑮ 在^⑯ 採^⑰ 來^⑱。天^⑲ 子^⑳ 按^㉑ 古^㉒ 圖^㉓ 書^㉔ 名^㉕
 河^㉖ 所^㉗ 出^㉘ 山^㉙ 崑崙^㉚ 崑崙^㉛ 也^㉜。一^㉝ 云^㉞ 漢^㉟ 書^㊱
 曰^㊲ 張^㊳ 騫^㊴ 奉^㊵ 使^㊶ 遍^㊷ 通^㊸ 西^㊹ 域^㊺ 諸^㊻ 國^㊼
 封^㊽ 為^㊾ 博^㊿ 望^㊿ 侯^㊿ 也^㊿。言^㊿ 文^㊿ 成^㊿ 今^㊿ 所^㊿
 使^㊿ 行^㊿。經^㊿ 歷^㊿ 張^㊿ 騫^㊿ 之^㊿ 舊^㊿ 迹^㊿ 也^㊿。
 十萬里之波濤伯禹遺蹤^① 帝
 世^② 記^③ 云^④ 禹^⑤ 治^⑥ 洪^⑦ 水^⑧ 鑿^⑨ 山^⑩ 通^⑪ 河^⑫
 堯^⑬ 美^⑭ 其^⑮ 績^⑯ 賜^⑰ 姓^⑱ 如^⑲ 氏^⑳ 封^㉑ 為^㉒ 伯
 禹^㉓ 鑿^㉔ 龍^㉕ 門^㉖ 之^㉗ 山^㉘ 二^㉙ 千^㉚ 年^㉛ 之^㉜ 坂^㉝
 通^㉞ 洪^㉟ 水^㊱ 河^㊲ 源^㊳ 也^㊴。

天下ニアニチク龍門ノ山ヲホリ
 洪水ノ河ノ源ヲ通セシアトテ今
 文成フニユクナリ。切韻ニ鑿
 ハ穿ナリコレモホリウカツコ、口
 ナリ音在各ノカヘシカウ、クト
 カヘルナリ説文ニ巖ハ山鼻也ナ
 リキリキレトヨセタリ音中佳
 ノ反トアル中ノ字アヤニナリ説
 文ヲ考ルニ五佳ノ及ナリカ、カ
 イトカヘルナリ爾雅ニ岸ハ水
 邊ナリキレトヨセタリ音魚
 幹ノ及カ、カントカヘルナリ。巖
 崗ハ毛詩ニ山脊ヲ崗トイフ
 トイリ陸法言カイワクヤニ小

隆^① 廣^② 雅^③ 曰^④ 隆^⑤ 坂^⑥ 深^⑦ 谷^⑧ 帶^⑨ 地^⑩ 鑿^⑪
 也^⑫。音^⑬ 都^⑭ 鄧^⑮ 反^⑯。深^⑰ 谷^⑱ 帶^⑲ 地^⑳ 鑿^㉑
 窮^㉒ 崖^㉓ 岸^㉔ 之^㉕ 敗^㉖。切^㉗ 韻^㉘ 曰^㉙ 鑿^㉚ 穿^㉛ 也^㉜。
 曰^㉝ 崖^㉞ 山^㉟ 邊^㊱ 也^㊲。音^㊳ 中^㊴ 佳^㊵ 反^㊶。爾^㊷ 雅^㊸
 曰^㊹ 岸^㊺ 水^㊻ 邊^㊼ 也^㊽。音^㊾ 魚^㊿ 幹^㊿ 反^㊿。高^㊿
 嶺^㊿ 橫^㊿ 天^㊿。刀^㊿ 削^㊿ 崗^㊿ 巖^㊿ 之^㊿ 勢^㊿。毛^㊿ 詩^㊿
 脊^㊿ 曰^㊿ 崗^㊿。陸^㊿ 法^㊿ 言^㊿ 曰^㊿ 山^㊿ 小^㊿
 而^㊿ 銳^㊿ 曰^㊿ 巖^㊿。音^㊿ 官^㊿ 反^㊿。煙^㊿ 霞^㊿
 子^㊿ 細^㊿。委^㊿ 曲^㊿ 見^㊿ 其^㊿ 泉^㊿ 石^㊿ 多^㊿ 明^㊿。實^㊿
 天上^① 之^② 靈^③ 奇^④ 乃^⑤ 人^⑥ 間^⑦ 之^⑧ 妙^⑨ 絕^⑩。



有書

遊仙窟卷一

四

而モ銳ヲ窟トイフトナリ音窟
 官ノカヘシカキクラリル。ラリヤル
 ア。フシナリ。深谷ハ屈テ地ヲ
 メクリ山ノ崖川ノ岸ハサマ
 アヤシキケイシヨクシテ鑿鑿ニ
 テ掘穿タルコトク物フリタリ又
 高キ嶺天ニヨコタハリテ山ノ
 ウシロノヲカチサウク山トカ
 リタイキオサハ恰モカニテ
 ケツリタテタルカコトクナリマ
 又山イツレノタクミカ削ナセルト
 イヘルモヲナレコ、ロニテ今モ
 高キミ子ノフモトヨリミアク
 レハタクミケツレルガコトクニ

目所不見。耳所不聞。目翹途
 遙。馬疲人乏。行至一所。險峻
 非常。向上則有青壁萬尋。真
 下則有碧潭千仞。古老相傳
 云。此是神仙窟也。人跡罕及
 漢武帝內傳曰。八方巨海之
 中。有十一洲。並是人跡所希。絕
 處。鳥路繞通。周王褒贈周處
 也。鳥路繞通。周王褒贈周處

ミユルナリ。深谷高嶺。鑿鑿穿於
 削。シナ對句ノ妙ナルモノナリ
 ①委曲ノノ微細ナルモノヲミル
 上注セリ。煖霞ハミナ山ノ氣ノ
 タチタルナリ。谷ノ峯ニヨリ。ホカニ
 タチタルケフリ。カスミノコニヤカ
 ル景ヲミルトナリ。②泉石煖霞
 ツイクナリ。泉石モミナハナレサル
 モノナリ。泉イナキヨク。石アラハレ
 テイキくトミヘタルハコレ分明
 ト井ヒツヘレ。天上ノアヤシキ
 メツラシキ。ヨノナカノタエスグ
 タルケイキ。井一タミモセズキ、
 モヲヨハヌ。トコロナリ。③ユクサ

蹊徑消漠。每有香菓瓊枝。楚
 有波瀾。天衣錫鉢。衣也。昔
 云。折瓊枝。天衣錫鉢。衣也。昔
 以。綴佩也。天衣錫鉢。衣也。昔
 有人入廬山。見一僧。與語
 不應。振錫。凌雲而云也。錫是
 僧之錫杖。鉢是自然浮出。不
 鉢跨。出經內也。自然浮出。不
 知從何而至。余乃端仰。一心
 言。正其心。神仰慕。仙。紫齋三
 道。冀得親遇。靈仙也。紫齋三
 甲。登徒子。好色賦。曰。繫齋。侯
 兮。惠音。色。一說云。齋其心

キイニタツキナレトモハヤトモ
 テ途遙カニ来スレハ馬モツカレ
 人モ乏タリタムトハ僕勞テ
 加乏ナリ。ナラハ宿モトメテシ
 バレ休ラハントヲオモヒニ所
 ニイタルソノ道又險峻ニシテ非
 常トハナハタレキコトカギリナレ
 非常トハツ子ニアラサルホドノコ
 トナリ。故ニハナハタレトヨセタリ
 ①非常ノ險峻ニヲドロキテ
 向上トアラノキミレハ青壁
 ノアラキイハヲ萬尋ガカリ
 トリ又直下トタチニタヲ臨
 公碧潭ノレトリノチアリソクフ

身不織
 雜也。緣細葛沂輕舟。建
 神賦曰。浮輕舟而上沂。爾雅
 曰。逆而上曰沂。順流而下曰
 也。身體若飛。精靈似夢。須臾
 之間。忽至松栢巖。飛華澗。陶
 明。飛源ノ記曰。昔釣魚人。八
 陽溪中。見兩岸桃花夾水。乃
 捨舟前進。見一處豁然。洞朗
 見人云。昔避秦亂來此。遂與
 世絕也。飛源即飛澗也。香風
 飛華之澗。即仙家也。

カノ千仞ハカリナリ。モトニ
 タニ。塊キユルハカリノアリ
 ナリ。是前ニイフオカシキ
 フウツスナリ。尋ハ奴子古
 其野ノフルキ翁ナリ。山ノカタ
 ナ。岩ノアリチ。アヤレクヲホ
 テ。古老ニトハバコソ。神仙
 ムナル。窟ナリトコタフルナリ。カ
 跡ニレナルトナリ。漢武内傳ニハ
 ノ慶ナリコレハ文字ノ出所ヲヒク
 コボツカナレ。二ノ對ナリ。人ハ
 カク奇妙ノ文。跡ナリ。周ノ平
 清漢有波瀾。コレモ鳥道ノ文字
 レキ。菓瓊瑤ナリ。枝アリ。楚詞
 二折瓊枝。以繼佩也。天衣公
 仙人ノ

觸地。光叙遍天。見一女子向
 水側浣衣。余乃問曰。羨聞此
 處有神仙之窟宅。故來伺候
 伺奉也。候伺也。

着ル衣ナリ。錫トハ僧ノモツトコロノ錫杖ナリ鉢ハ是鉢踏ゴレモ沙門。常
隨其身ノ器物ナリ。護持キハメテムツカシ。昔人アリ廬山ニ入テ。ヒト
リノ道僧ヲミテ。與ニ語僧ヨク及ヘズシテ。錫杖ヲフリテ。雲ヲ凌テ去ル
トナリイマダ出所ヲヒカズ。考フベシカヤウノ故。夏ハ佛書ニアタアリ
タ。此ノ註ハ錫杖ノコトヨト。タシカニシラシメントノ夏ナリ。サテ此天衣
錫鉢モ。仙人ノスルトコロナレバ。自然トナカレニウカミイツルトナリ。カヤウノ
所ハ心ヲ以テミルヘシ。ウニカハルヘカラス。アヤシキ峯。メツラシキ岩ナトヲモ
ルニイカサマ仙人ナトノイハヤトモイフヘシ。サレバ此ナガレニハ仙人ノ衣錫鉢ナトモ
浮イツヘキ。アリサマゾトナリ。先コレニテガ。古老ノイフコトバナリ。○コノ文ハ天衣
錫鉢自然ト浮ミイデタルガイツクヨリカナガレイタルラントイフコトナリ。
下ノ文ニ余スナハチツ、シシテ。心ヲモツハラニシ。紫齋スルコト三日トアリシ
カレハ右ノ天衣錫鉢。ウカミ至ニヨツテラシギニヲモイ。イカサマ仙人ノス
ミカトキ、レニタカハザレバ。カノミナカニサカノボリ。仙ニミエントヲモツ
シシテ。モノイミシシテイタルトナリ。此ハ此從河而至ルトイフハ天衣錫鉢

トトナリ。一説ニ文成カ。谷ノヲメクリテ。コニ來テ。初ノミチヲワスレ我ハイッ
クヨリイタルゾト。ヲドロクトナリ。コノ説上トヘ通セス。前説ヲモツテ是トスヘシ
○端仰上端ハ正ナリ。仰ハ仰願ナリ。仙人ニアヒタキトヲモヒテ。其心神ヲタ
レ仙道ヲアヲキ。タイヨイ子ガハクハ靈仙ニ遇。觀ハヤトヲモフナリ。○心ニ紫
齋スルコト三日ナリ。紫ハイサキヨシトヨム。沐イ浴シテ身ヲキヨムルナリ。齋ハ
モノイミシヲスミシメ。雜念ヲハラフナリ。仙人ニミユルコトナレバ。カクノコトシ
テ。ヘヨリツ、シムトナリ。登徒子ガ好色ノ賦ニ曰。紫齋候。兮惠音聲。二
説云。齋其心。安不穢雜也。○仙人ヲタツ子テユク。サガレキミチノテイ
ナリ。山ヲユク時ハホソキ。クツカツラヲタグリ。トリクサニシテノボル。溪川ヲユク
三六。大キナル舟ハカヨハズ。カロキ舟ニテサカノボルナリ。曹子建洛神賦曰。浮
輕舟而上。洒爾雅曰。逆而上。曰洒。順流而下。曰洒。也。○カツラヲ
タグリ。カルキ舟ノホレハ。身モトビアガルコトク。タシヒモユメニ。タリ。但身
體飛ガゴトシト。ホソキカツラヲタグルトイフニカ。リ。精靈似夢トハ。輕舟
ニサカノボルニカケテミルベシ。サテニバラクノ向ニハヤタチニ。松栢ノシガ

タル岩。桃花ノヲキミダレタル。洞ニイタリシナリ。桃花ノ洞ト云。故吏ナリ。陶淵
 明が桃源ノ記ニアリ。ムカシ魚ヲ釣人。潯陽トイフ所ノ溪ノ中ニ入。兩
 ノ岸ニ。桃ノ花オキテ。水ヲサレハ。オムヲミルニ。ゴロニ。ヲモシ。ロクヲホヘテ。
 スナハチ舟ヲステ。ス、ニ。ユクホドニ。一ノ所ニイタルニ。ミル。豁然トシテ。ヒ
 ロク。誰然トホガラカナリ。今。來リ。道モタヘテ。家居ヲ、クニハトリ。イヌノ
 聲。チニタニキコヘタリ。アル家ニタチヨリシカバ。翁イヅヨリト。フシカド
 カタル翁ヲドロキテ。イフヤウ。今ハイヅレノ世ゾト。晋ノ代ナリトコトヲ
 キナ。涙ヲナガシ。ウレクム公カシ。秦ノ記ヲオケテ。ヨニ來リ。遂ニ世ト音信
 ヲ絶タリ。今。晋ノ代トイフコトヲシラス。ナツカシヤトテ。色々種々ノ
 チソフヲシテ。トナリ。アタリノ人々モ。寄來ツ。晋ノ吏ヲ。イトナツカ
 シク。阿レアルイハ。ツレノ子孫ハ。今ニアリ。ソノ所。縁ハ。タヘハテタリ。ソノ山ハ
 河トナリ。カノ谷ハ。平地トナリ。恙スル原ハ。家居トナリ。家居アリシ
 ハ。溪トナリ。シトカタル。誠ニ。陵谷。變遷ノアリ。オキノフハケフ。ノユメトナリ
 シ。コトカタル人モ。仙境ニ入ヌルコトヲイフカリ。キクヒトモ。シ人ニアヒシヲ

アマシミケルホトニ。日ヲクラシ。夜
 フアカロハ。ステニイテ。シト請フ
 古リヲ。ミ。イテ。フクレ。忽
 然ト前ノ溪ニイテ。タリ。魚人ア
 リ。フシキニ。ヲモヒ。道スカ。名トヨ
 ニ。シル。レノク。サヲウチテ。カヘリ
 帝ヘ。奏シ。タテニ。ツリシカ。希代
 ノコトナリ。上テ。カサ子テ。官人ヲ
 ツカワサレケルニ。終ニ。ソノ。処ヲ
 シナサケルトナリ。桃源ハ。則チ。桃源
 ナリ。香風ハ。花ガ。ロニ。和シ。テ
 ニ。ホフコト。地ヲ。メクリ。テ。ア
 子ク。飛花ノ。ウツクシク。クワ
 サイ。公天ニア。子ク。ミチ

山川阻隔。疲頓異常。疲頓困
 也。頓ハ。疲。困。疲頓困
 困也。欲投娘子片時停歇。賜
 惠交情。幸垂聽許。女子答曰。
 兒家堂舍賤陋。供給單疎。亦
 恐不堪。終無吝惜。余答曰。下
 官是客。觸事早徵。但避風塵。
 則為幸甚。遂止。余於門側草

テレリケカハル花ノウハルハ
 名サキモタレタルアタリニ
 トリカミツノホトリ衣ヲ洗
 瀧スルヲミタリヤツカリ公
 成ナリ文成問テイハクカ子
 テウケタハハル此ニ神仙
 ノスムナルイハヤアワトコト
 ラニイマウテキテサフラフ
 ナリトイフ内阻隔トハ
 ヘタリトイフキナリ文成女
 ニイフヤウ也山川ノヘタリトイ
 キ処ヲコヘクラレテタツチクタ
 ビレタル疲頓トツカレクタビレタ
 ルコト異常トハナハダトイ

亭中良久乃出余問曰此誰
 家舍也女子荅曰此是崔女
 郎之舍耳崔是假為姓也女
 郎女子人之稱也崔
 姓之貴故余問曰崔女郎何
 人也女子荅曰博陵王之苗
 裔猶後清河公之舊族也博
 陵
 清河者郡名并屬河容
 貌似
 北道崔氏所出也余ハ

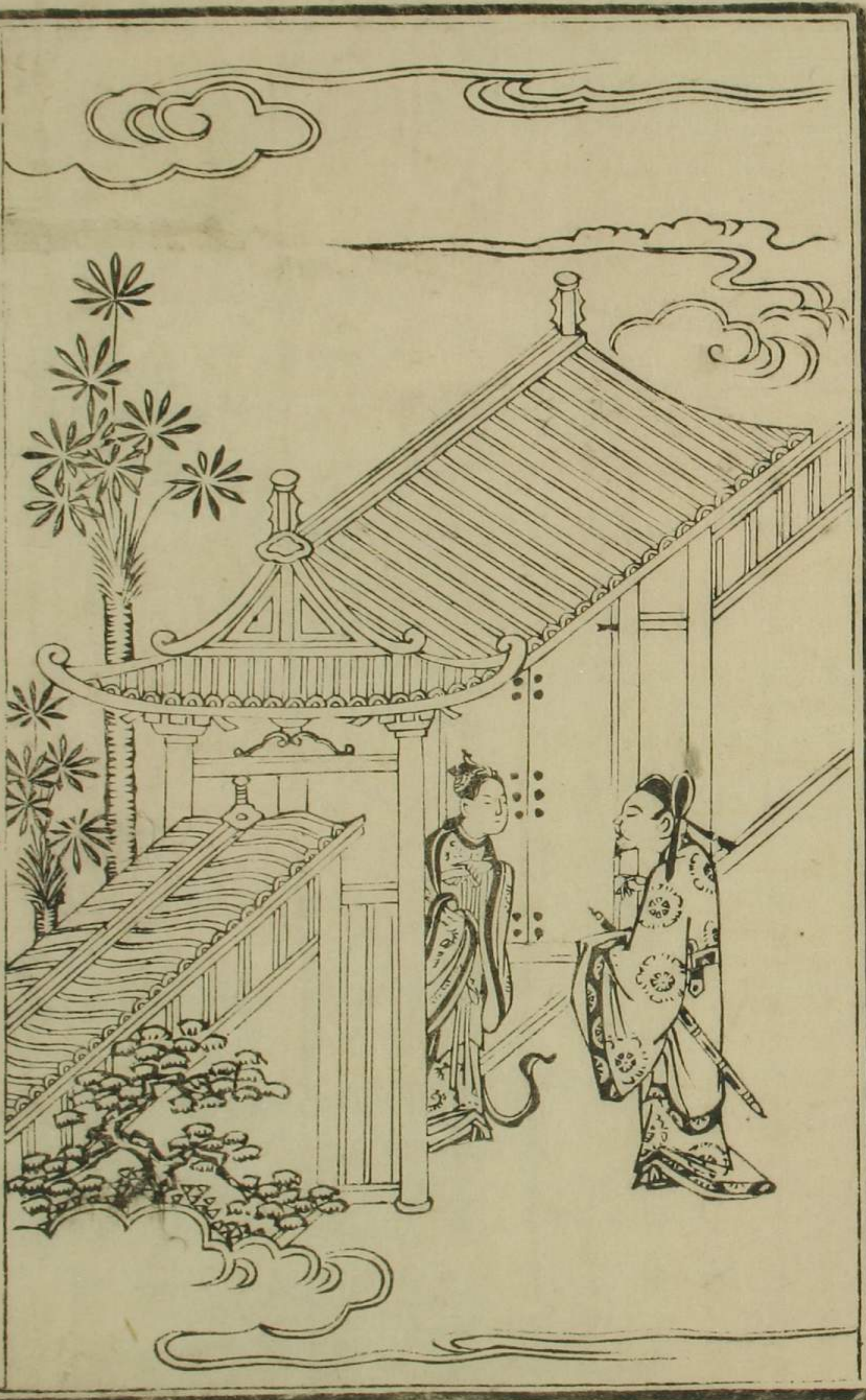
疲頓ハ困カタチ疲ハ勞ナリ頭ハ困ナリ文成女ニイフコトハカクタビレ
 スレハ娘子ニヨリテバラクノ間傳イコハントヲモフ子カクハ情ヲ交テ
 惠賜コノ言ヲ幸ニキ入テタヘト説ナリ娘子ハスベテ女ノ稱ナリハス
 メ子トイフ心ナリソノ時女コタエテイフヤウロカイハ公堂舍モ賤シク供
 給ノタテニツラシモノモ單疎トスクナクヲロソカナルベシタラソノラクハヤ
 ウノコトハサニ堪忍也タハヒトゾシズラシメテイナト申スニテハサラクナ
 シトコタヘシナリテソノトキ文成コタヘテイフヤウ下官ハ是モトヨリ客者
 ナレハ觸笮ニ卑微トイヤシクカスカルコト覺悟ノニナリタヤトラカリ
 タテニツリテ風塵ノ風ヤ塵ヲサクルモノナラバコノウヘノ幸モアルニキト
 イハ公女モアハレニヲモヒテ主人ノ側ニ單屋ノアリシニコノウチニ
 ヤウジ入タリカノ女門ノ内ヘハシガ良ニバラクアツテ出タリソノ時文
 成問ヤウ門ノウチノ御アル公名ハイカ、イフゾト女子コタヘテイハ
 是崔女郎トイフ人ノ舍ナリトコタフ崔ハウチナリ女郎トハ女ノ稱
 ナリ今日本ニテ女師トイフヲナレヌナリコレニツケテ女郎トイ

上藤トカクノ人モアリコレハ女官ノ名ナリ。ツ子ニハ女郎ト書ヘシ。唐ニテハ崔姓ハタツトキ姓ナリ。日本ノ源平藤橘等ノコトシヨハ根本姓ハナキ仙女ナレトモ。姓名ヲタシクイハントテ。姓ノウチニモ貴キ。崔姓ニシテ。崔女郎ノ舎トコタフルナリ。コレハイツハニ似トモ。女ノ被官トシテ。レバラク主人ヲタツトブ心ナリ。戲筆イヘトモ。文ノハタラキ心ヲツクヘシ。成名ヲキイテ。ナラユカレクヲモイ。ラシカヘシテ。サテ崔女郎トイカナル人ソト問ナリ。コニシテ。戀情スコレアラハレタリ。女子又ヘテイハ名コトモヲロカヤ我君ハ博陵王ノ苗裔清河公ノフルキユカリナリトイフ。博陵モ清河王。皆郡ノ名ソノ博陵郡ノ大名ナレハ博陵王トイ。清河ノ君ナルユヘ。清河公トイフ。苗裔ハナラ。後胤トイハシカゴトシ。此崔女郎博陵王ノ子孫。清河公トハ一門ナリト。サテ博陵モ清河モ。並ニ河北道ニ属ス。崔氏ノ元祖コノ郡ヨリイテタリ。故ニツソノ崔氏ノタシキ證據ニヒクナリ。是モ實更ニハアラス。語林ニ潘安仁トイフ人。至テ姿容ウツクレカリマツ子ニアリク。ソノイロヨキニコ、ロトヒ。老嫗モ葉ヤウノモノヲ以テ。猶タリ

ユクウキコト。カクノコトク。女ニシメヨクオモハレケルホトニ。後ニ葉車ニミチアリケルトカヤコ、ノ心容貌ノカホカタチ。オチニ似タリトカノ崔女郎トイフ。娘女子ハ乃是潘安仁ノ外ノ甥トイフコトナリ。外ノ甥トハ母カタノ甥ナリ。オチニ似タリトイフ舅ハスナハチ。潘安仁ナリ。俗語ニ外甥似舅トハ中ニ有。九トイフ。母カタクメイハソノ舅ニカナスニルモノナリ。チガ九バ似トナリ。カガユヘニ。潘安仁カ羨モ。少年ナリレコトヲ思テ。ソレニ似タリトイフナリ。コニシテ。似タリトイフテ。潘安ガ外甥トツケテ。サテモ奇特ナル文法ナリ。姓甥通テライ。庄メイ。庄ヨムナリ。女ニユヘ。今姓ヲメイ。トヲボ。甥ハツクリニ

舅潘安仁之外甥。語林曰。潘安仁至羨。姿容。每行。老嫗以葉擲之。常滿車。一云。俗語云。外甥似舅。十中。有九也。言此ノ娘。子ハ乃是安仁カ之外甥。羨麗似舅也。氣調如凡。崔季瑋之小妹。魏曰。崔琰。字季瑋。清河人也。色清。高。暢。眉目。疎朗。鬢長。四尺。甚有威重。一云。女似兄之羨麗也。

男トイフ字アルユエニオイトヲボユルナリ根本男子ニモヲイトサフ処ニ姪ノ字ヲ書クコニハ
 マイコトナルヲ甥トカケルニヨツテ通テ用ト存又甥ヲムコトヨムコト俗ノ傳ニアルコト
 ナリムコハ尊ノ字ヨシカノ童子ノモテアソブナル小野篁カ哥字ヅクレニハナクノ誤
 アリ信ズヘカラスユ魏志ニ崔琰字ハ季珪トイヘリ清河トイフ所ノ人ナリ音キヨク高ク
 暢ラカナリ眉目疎朗トアラカニボカラカナリ鬢ノ鬢ノナカキコト四尺ハカリ四尺
 ハ周尺ナレバ今ノ三尺ニ寸ハカリナリカヤウニヨワツキモハレトモノゴシキヨク眉上自
 トノ間ハレヤカナタツトク鬢鬢ニテナガリシカ甚威アリテヲモクシクヨキオトコ
 ナリニ云女公カナラズ兄ノ羨麗ニ似モノトイヘリナルヨリ氣調ハ崔季珪ニ似タ
 リソノ妹ナレバソトナリ氣調ハツヘラヒトヨシセタリ氣ハ形ニカリ調ハ声ノシテリレカ
 ニヨリ註ニ色ト眉目ノコトイヘリ氣調ハイキオレ氏コトハライトモヨシセタリイキオレ氏ヨム
 テレカルヘシ曹子建カ洛神ノ賦ニ華容婀娜トツケタ婀娜ハ音鳥可ノ友カアトカヘル
 ハ音奴可ノ友カトカヘル此カヘシシタガイアリムカシヨリ婀娜ノ字タノ音ニ用ハ奴ノ字
 ニトノ音アルニヨリタチツテトノヒキニテカキクケコヨリヨフトキタノ音トナルレカルニ奴
 ノ字ハヌノ音アリヌノ音ノトキハナニヌ子ノヒキニテカガトカヘルレカレハナノ音ナ



カク侍ルイツレクルレカラズ。今更嬬嬰トヨムゴトヤウニキコヘ侍。例ニレタカツテアノタト
 ヨムヘレ。嬬嬰ハ行動節度柔弱之貌。カノ崔女即ノカホハ花ノゴトクウツクレク。レナ
 ヤカニ侍ルトノブルナリ。説文ニ遠逝ハメニユキサルトナリ。遠ハ音於危ノ又カキ
 アイ。サトカヘルナリ。遍ハ音待向ノカヘレガタトカヘル又一説ニ遠逝ハ音於危ノ又カキ
 ニユルヤカナルトナリ。カノ崔女即ハアリウツクレウレテ天ノ上ニモナカクタクヒアルニシ
 天人ナドモ自然ノ義ナルカタチナレ。座ナカクヲヨブベカラス。タトヘバタニレロクカ
 ハシクスキトヲリヒカリアルカゴトシアルキタニフヤウスニテナコヤカニユフクトツツカ
 ナル風俗ニテ侍ルト云ナリ。東觀漢記少定ト云文ヲ註ニ出セリ。文字ノ出所ニナリ。
 足ハ雙ノ字ノナラフト云文字ト同心ナリ。崔女即ハ天上ニモ人間ニモナラズ。只一
 ノ義人トナリ。輝ハ光リ澤カチナリ。面ナカホツキナリ。カホツキヒカリウルヲ
 フトナリ。ツヤアリテウツクレキ心ナリ。荏苒トハカルクヤハラカナルコトナリ。カホツキ
 至ノウルヲヘルヤウツツヤクトレロクキワメテキメコニナル。ウスリハナレモレユビニテ
 ナヨツトハシカハツノミ、ウゲツウナルヤウスナリ。ツノカホノウスカハナルヲ。荏苒トナ
 ナリ。荏苒ヲヘ、ヤカトヨメタリ。ヘ、ヤカトハカルクヤハラカナル心ナリ。註ニ其面ノ

カハヤハラカニウスレトアリ。荏苒ハ音
 如甚ノ及レサレシトカヘル。再
 ハ音而淡ノ及。ヤイユエガレスセシ
 「カヘルナリ」細ハホソクトシタルナ
 リ。腰支ハヨレナリ。ホソヤカナルコトユ
 ラユラトタマヤカナリ。參差ヲタラ
 ヤカト。右来ヨシキタルナリ。キハメテレ
 ナヨキ心ヲ云ナリ。輝ハ細ハ面ナ
 腰支皆對句ナリ。參差ヲ註ニ
 ヒトシカラサル。兒ト云リユラクト
 レテ。腰ノ定ナキ心ナリ。也。韓娥
 ト云レ人ハ美女ニテ。歌ヲヨクウタ
 ヒシ人ナリ。宋玉モ端正テ容儀
 キ美男ナリ。楚國ノ襄王。宋

華容 阿嬰 曹子建洛神賦曰
 阿嬰 華容 嬰 嬰 宜 顧 也 嬰 音
 食 李 善 曰 嬰 嬰 宜 顧 也 嬰 音
 鳥 可 反 娜 音 奴 可 反 又 云 行
 動 節 度 柔 天 上 無 儔 玉 體 遠
 弱 之 貌 遠 遠 邪 行 去 也 遠
 遠 音 於 危 反 遠 音 待 河 反 又
 一 云 行 步 人 間 少 足 東 觀 漢
 舒 緩 也 記 曰 黃
 李 文 美 年 美 年 博 學 強 記 京
 師 號 曰 天 下 少 足 足 雙 也 言
 十 娘 天 上 無 偶 地 下 無 雙 信 為 第 一 也
 輝 々 面

玉ニ問タニフヤウソノホウ五體
トモニ容治。口ニハ微辭ヲホシ
テ客人トナルトキ主人ノ女ニ愛
入テハ寡人ニ事レハミナカタチ
ウツクシクコトハウルハシキユヘナリ
色ト志トハ抑ホナルヲナレハ徳ヨリ
シレハ亦薄フナリ宣フトキ宋玉コ
タヘテモフスヤウ我身体ノウルハ
シキハコレヲ父母ニウケタリ口ニ微
辭ヲキハコレヲ聖人ニ聞タリト
云リヨキ余舌カクノコトトレ魏
文帝敏系欽ニ與書ニ今タエニ
ニウモノハ絳樹ト云人ニスクルハナ
シトイヘリ孟獻忠文場カ秀ウ

子。輝。之。貌。在。薄。畏。彈。穿。輕。軟。
也。一ニ云の連、接ノ不、断、貌。言、將、手
指、彈、其、面、恐、畏、穿、也。此、言、其
面、皮、内、嫩、薄、也。在、音、細、腰
如、甚、反。其、音、而、琰、反。細、腰
支、參、差、疑、勒、斷、也。此、言、腰、細、
勒、之、恐、腰、斷、也。韓、娥、宋、玉、美、好
去、也。勒、抱、也。韓、娥、宋、玉、美、好
唱、歌、也。宋、玉、端、正、有、容、儀。楚
襄、王、謂、宋、玉、曰、五、體、容、治。口、
多、微、辭。出、愛、主、人、女、入、事、寡
人。不、亦、薄、乎。玉、對、曰、身、體、

ニハク絳樹ハ古ノウツクシキ
ナリ青琴アハ古ノ神女ナリ司馬相
女ガ上林ノ賦ニ美夫青琴アハ必妃ガ
徒トアリナキニヒシ韓娥宋玉等
ノ天下ニオタセシ美人モゴノ崔
女郎ヲシルナラバナシイニ我コノ
ミニクキスカタニテイキテハハナウ
レウルニテアハフシ絳樹ノ美妾ト
青琴テノ神女モゴノ崔女郎ニムカ
ウタヌハ我カタチヲハナヌベシコレホ
トニウツクシキ人ニテ侍ルトムナリ
①カノ崔女郎ハ千ノコヒ百ノコヒ
アリテ尤モ右モイハシカタナク
ウツクシクカリソメニカタクヒナラ

受ニ之ヲニ親口多見則愁生
微辭聞ニ之ヲ聖人也也
絳樹青琴對之羞死魏文帝
書曰今之妙舞莫過絳樹孟
獻忠文一場秀句曰絳樹者古ノ
美妾也引司馬相如上林賦
曰美夫青琴必妃之徒伏儼
曰青琴古ノ千嬌百媚造次無
神女也
可比方造次者弱體輕身談
之不能備盡須臾之間忽聞

ヘテタトヘレカタモ侍ラストナリ。造次
倉卒。カリソメト云心ナリ。口弱体
トハシナヤカニ。タヨトシタルアリ。ナ
ナリ。輕身カキキハタチイフツ。カニヲモカラス。
カヤウニアルカタチヲハ。ニツフオニガタリ
ツクス。トナラヌト云ナリ。須更ハシハラク
ノアヒタニ。タチニチ内裏ウチカニ。筆ヲシラフ
ル声キコエタリ。コレ崔女サイメ郎ガ。シラフル
コトノヲトナリ。僕ハ。文成ナリ。文成ウチコ
コノ声ヲキ。其コトノヲニヨツテ。詠
テ。イハク。自オノト。崔女サイメ郎ヲサレテ云
カノウツク。レクナル女郎。ワガ姿カサチノア
リオ。ニノウツク。キヲ。見セジトカク
レタルヤウナリ。物ヲモハセフリトナル

内裏調箏之。敵僕因詠曰。自
隱多姿則。自隱者。心中ニ自善
云。猶自道也。其容儀可愛也。一
嬌也。則態也。欺他獨自眠。
欺凌輕慢於人。則故。將織
欺也。他自文成也。故。將織
時。弄小絃。耳聞猶氣絕。
眼見若為憐。從渠痛不肯。
也。漢書曰。司作人更別求天。
兵曰渠也。

ト云心ナリ。詠ニ自隱トハ。崔女郎
ノ心ノウチニ。ツカラノ。容ノ愛キヲ
善トスル心トナリ。此時ハ。隱ト云ハ
心ノ中ニカクスニナルナリ。ニ云。猶自
道トハ。コトノヲキケハナヲ。ツカラ
ウツクレト云。カコトレトキユルヤウ
ナルトナリ。箏ノ音ニテ。カタチガ
見子ミコ匠シヤウヲモヒヤラルト云。心ナリ。
イツレニテモ。相魚アイサテ。ルベシ。姿嬌
也。則態也。嬌態ナリ。崔女郎
ニツカラフ。ウツクレキスガ。タヲカクシ
テ。他ヲアナムキ。アナドツテ。ヒトリ
ニツカラフ子フルト。ガメタリ。畢竟
ソナタノカタチ。ウツクレキ。自

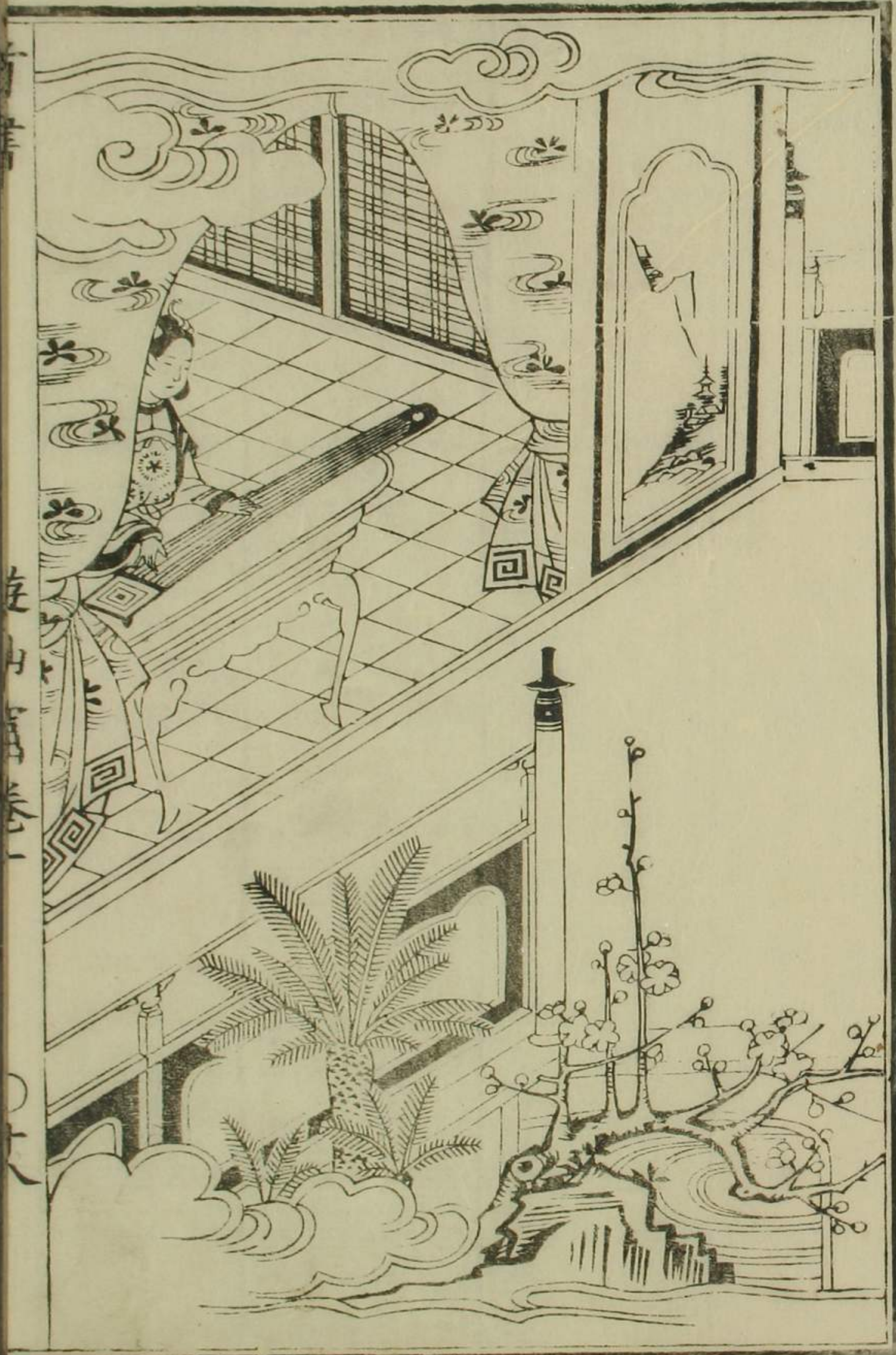
由我。何必不由天。余乃言。時
人自別求天。何益也。
遣婢桂心。傳語報余詩曰。面
非他舍面。他舍猶家也。言我
外人之一心。是自家心。何處関
事也。
天事辛苦。漫追尋。余讀詩訖。
擧頭所中。忽見十娘半面。余
即詠曰。斂咲偷殘。壓斂咲者。
斂。精神。

在山西...

慢ソウナト云心ナリ故コハカタニ
 シカホ氏子タミシガホトモヨニセタリイ
 ツレニヲモフ処アルヤウナル心ナリ
 俗ニ物ヲモハセフリト云心ナリ子
 タニシガホノカホト云心ハ様子ト云
 ト同シ欺他ホドノ自慢ナレバ我ヨ
 リ外ノモノハナレト他ヲ子タミシキ
 ヤウスニキユルトナリイカオニホ
 ソラカニウツクシキ新シテヨリク
 小絃ヲカキテラス小絃ハ琴ナリ大絃
 小絃アルウケニ小絃トカキシモ奇妙
 ナリ物ノ音目エ六キナルヨリカスカニ
 ホソキハナツカシキモノナリシカルニ取
 ニキクダニナラ親モタエナントスミレテ

而咲フ也。靨婦人兩口一違聚一完。
 咲則有之也。偷殘一靨者門中
 偷避人眼觀者唯含羞露半
 見殘一靨音於協反。含羞露半
 唇一眉猶耐。耐。耐。心。中。不
 美一女ノ之一一眉。心。中。乃。迴。皇。迷。
 惑。未。知。何。方。而。得。故。不。平。也。
 匹。難。也。音。並。可。反。雙。眼。定。傷。
 耐。忍。也。音。乃。代。反。人。又。遣。婢。桂。心。報。余。詩。曰。好
 是。他。家。好。人。非。着。意。人。人。十
 娘。自。

眼ニ見ルナラバ何ホトク憐カク
 從渠痛不痛モノナラハモシ逢見テ志ヲ迷トキ渠ハナハタ前カ
 ズンバ我タレヲカトカメ何ヲウラシム皆我心ヨリスルヲハヤルセナカラントモフナリ渠ハ汝ナリ
 則崔女郎ナリハ入トハ張文成シツカラ云ナリイナイハフルモノチラハ我ナラニ別ニ天ニモトメ
 ンヤ天ニモトムトハ天ハアタレトコロトヨニセタリアマナルカタヲトカメンヤ。只我ヨレルコトナリセレハ
 ラクシテ崔女郎ノ婢女ニ桂心ト云女ヲオエシテ則文成カ詩ヲ返報セシナリ其詩ニハハ
 面非他舎面トハ汪ニ他舎猶家言ハ我ヲ義麗云何外人ニ別ノ夏ニ開トアリコレハ
 以前ニ文成ガ彼ツカハレモノ云レコト。琴アノ音トヲキクニツケテ崔女郎ノ姿則トウツク
 シケナルヤウスヲ詩ニ詠セシユヘ。其返報ナレハ我面ハ自我顔ミシテ他ノ舎ニ知ルキ面ニテ
 ハナレシカレハナゾ外人文成ニ我面ヲ別見スルニ顔ラント云心ナリ。面ハ我面。心モ是自
 家ノ心ナレハ外人ニミユベキモミユレキモ我次ヲヤリシカルニ何ノ処ニカ其チ天子ノ使ニアツ
 カリテ辛苦シテヨミニテ漫リニ追尋來ルソトトガムルナリ畢竟ニミユベキトハヲモトモ物
 ヲモハセントノ顔ヲトナリ是文ノ深キ処ナリ。余ハ文成ナリ。已彼詩ヲヨミヲハリテ頭ヲ門ノ
 中ニ拳テタテニナシ娘ガ羊面ヲ見付タリ。娘ハ則崔女郎ナリ。ナキニ五娘ト云モアリ。別ノ
 人ナリ。十ノ字五ノ字ニカハルヘカラス。皆一人ナリ。只寓言ノミナリ。老莊ノ文ニカクノゴトキモナラ



卷一
仙窟



卷一
仙窟

一

④此間公コニト三セタリ。ヲトキト云
 ニ同コトキハコタヘスニバアルベカラス
 トヲモヒテ。遂ニ懐抱ヲノヘテ。書ヲ
 贈ナリ。懐抱イキドヲリトヨセテ
 アリ。思イレノトオリヲ。申ノフルナリ
 ⑤余ハ文成ナリ。ワレ文成。少年時ヨリ
 色ノカタチヨキヲ。夕ノレムユ。如何
 様ニモ。早佳期ヲ慕ナリ。慕ハ戀
 慕ナリ。注ニ離。驛ヲロク。佳期ハ文
 字早ノ字ノ心ヲユトハルナリ。注ノ心
 佳ノ字ハスクニ。其人トオセ。憐アル
 ユニ。佳ノ字ニテ。ムカウノ人ニアテ。ハ
 ユウナリ。佳ハヨレトヨク。佳人ト云。公
 ツ羨人ニトルナリ。コニテイハバ。

稱也。言、我自佳麗。非汝何須
 着意之人。勿漫相弄也。
 漫相弄。幾許費精神。于時夜
 久更深。沉沉不睡。彷徨徙倚
 無便。披陳彼誠。既有來意。此
 間何能不答。遂申懷抱。因以
 贈書曰。余以少娛聲色。早慕
 佳期。屈原離騷曰。與佳期兮
 夕張。李善曰。佳期。謂湘

崔女郎ニアテ。云ナリ。早ノ字ノ
 心ハ夕ハヤキト云。心ニテハナレ。早ト
 云。心ナリ。不斷常住思ナリ。夕ハ少
 ヲリ。色色ヲ娛ト云。早佳期ヲレタ
 トアレハ。少ノ字ト早ノ字ト。昭見ニ
 對ノ文字ナレハ。少年ヨリ。早色ヲ思
 ト云フニキコユ。相兼見ヘレ。⑥文成
 ハ若年ヨリ。風流ナルコト。詠ニハリ
 テ。遍天下ニ遊メグリ。鶴琴ヲ
 蜀郡ニ彈。アクニテ。文君ヲ見レナ
 リ。蜀郡ハ蜀ノ國ノユヲリナリ。文
 君ヲ見ト。古ノ羨女。文君ヲ假テ
 スベテ。カホヨキ人。上ニトルナリ。
 文君ナトノヤウナルカホヨキ人ニ。

夫一人也。不敢指斥尊者。故言
 佳也。張施也。言ハ已。願ハ以。始秋
 蘋草。初生。望子之時。修設祭
 具。夕早。洒掃。張施。惟帳。與相
 夫人一期。敵。歷訪風流。遍遊天
 下。彈鶴琴於蜀郡。飽見文君。
 琴操曰。商陵穆子。娶妻。五
 死。子。父兄。欲改娶。妻聞之。中
 夜驚起。倚戶悲嘯。穆子聞之。泣
 愴然而悲。乃援琴而歌。為別
 鶴操。鶴或作鵲。傳云。賦序
 曰。齊桓公有鳴琴也。漢書曰。

ア子クモレラレモシツルナリ。注
 八前ノ古吏ハ鶴琴ノヲ云ナリ。
 琴ヲ操ニ云商陵ノ穰子ト云人妻ヲ
 娶テ五年タテ氏子ヲウニス父兄ノ
 父カタノ伯父コレヲミテ又余ノ妻ヲ
 娶トセシニ妻コレヲ聞テ夜中ニヲ
 トロキ起テカニ倚モタレテ悲ニ
 嘯夫ノ穰子コレヲキテ愴然トカナシ
 アハニカナレクヲモヒテ去ト思心ヲ
 操ト云琴ノ曲ヲ為シキリコレ鶴琴
 馬相如ト云人蜀郡ノ臨邛ト云人今
 富貴ナル人相如ヲヨシテ酒ヲモル
 キ王吉一坐シテアリレカ相如ハ琴
 カノ塵ウツハリニ舞行雲々チニチ
 過ルホトナリ。ウテカノ亭主卓氏
 娘又君ト云レ

司馬相如。與蜀郡臨邛令王
 吉相善。往過之。臨邛多富人。
 卓王孫為相如酒酣。令琴
 琴。曰。聞長卿好琴。願以自娛。
 相如乃鼓一再行。卓氏女文
 君好音。樂相如。以琴心挑之。
 文君夜奔相如。

九帝ニ音樂ヲ好シトテ相如カチ
 テ知ヌレハヨキヲリシト思テ意
 慕ノ心ヲ琴テニヨソテ。雖挑
 カル娘コレヲキ、レツテ其夜相
 如カモトヘ奔ユキテチキリシト
 ナリ。是今文成ガ崔女郎ニア
 テ。此古吏ヲヒキテ意ナリ。
 注列仙傳ヲヒク。古蕭史ト云
 人。秦ノ穰公ノ時ノ人ナリ。ヨク
 簫ヲフイテ。孔雀白鶴ヲヨヒシ
 ナリ。時穰公ニムスメアリ。弄玉ト
 ムツ子ニ蕭史カ簫ノ音ヲコノ
 ニレバ。此弄玉ヲ蕭史ト夫婦
 ニセラレシナリ。蕭史又弄玉ニ。

吹鳳管於秦樓。孰看弄玉。
 傳曰。蕭史者。秦穰公時人也。
 善吹簫。能致孔雀白鶴。穰公
 有女弄玉。好之。公以女妻焉。
 遂教弄玉作鳳鳴。居數十年。
 為吹簫。似鳳聲。鳳來止其
 屋。為作鳳臺。夫婦止其上。下
 數年。作鳳。一旦皆隨鳳鳥飛
 去。秦為作鳳女祠於雍宮。時
 有簫色。云。簫之為形。像
 鳳之翮。是曰鳳簫也。雖復
 贈蘭解珮。傳云。曰。愁詩曰。佳
 人贈我明月珠。何

簫ヲ起テ一階上手ニナラシメ鳳凰ノ
ナク色ニ似タリ如ハスルテ十年アリ
後六鳳凰キタリテ蕭史ガ屋ニ
止蕭史モ好事モノニテホウヲタテ
作蕭史夫婦モノノ其室ニミシガイツ
ノホトニカ蕭史マウフ五六年レテ鳳凰
トナリテ一旦皆ホウヲフニ隨起テ
ク氏ナク飛去又秦ノ穆公コレヨツ
テ弄玉ノ為上テ鳳凰ヲ祠ヲ雍宮
ニ別殿ニツクラレケル時蕭ノ色アリト
ナリツズツキウノ形ハホウヲフノ形ヲ似
タルモノナリ今テ蕭モカクユトレユトニ
ヨクニタリ故ニ鳳簫ト云ナリ鶴琴鳳
管蜀郡秦樓ニナ對勾ナリ鳳管

以要之此目魚佳人贈我蘭
草何以要之同心鳥佳人贈
我蘇合香何以要之翠鴛鴦
縣渡弱水川無梁申以錦衣
文繡裳鄭風土記曰鄭人妖
冶每春月相期漆洧兩水之
上相共為樂日暮將別折芳
蘭而相贈也韓詩外傳曰昔
者鄭交甫將適楚尊彼漢皇
乃遇二女比魃服而具環珮
兩珠大如荆雞卵交甫與言
二女遂解珮而與之交甫受
而懷之趨而十步探之則木
亡矣廻顧二女亦夕即亡矣

管八簫ノ一鳳簫ト同傳去カ
語ヲヒキテ愁詩ノ中ニ贈我蘭
草ヲトアレバコレヲ取用テ注スル
ナリ以下ノ註ニ見タリ又鄭ノ風土記
ニ云ル心カオウフ鄭ノ国ノ女ハ妖
冶春ノ木目モ花ニナリ二月三月ノ
折節ハ漆洧ト云ル処ノ景氣モニ
入深ハ羨女コレニ誘テ先ニ行テハ
後ヲ二手タカヒニ遊ヒタハレテコニ
テ音樂ヲ奏トカヤ漆水洧水ト
テ南ノ川トキコエタリステニ音樂
酣ニ目モ西山ニ紅ナレハ羨女ステニ
ヲ手折テ又逢ニテト贈ナリ又註

甚關懷合璧橫陳禮記婚
婦車而婿揖婦以入共坐而
食合璧而醑所以合體同尊
早以親之鄭氏三禮圖曰璧
受四升取瓠中破之各一也
音居隱反宋玉風賦曰主人
女又為臣歌曰怵惕心而阻
玉一床橫自陳兮君之傍又
云橫陳者在身倚橫財也何
曾愜意蜀地會於文君復向
秦樓交於弄玉此謂羨人並
不入關懷我懷曾未愜我所好

韓詩外傳フヒクフ。解明ト云文字
ノ出処ヲヒルス。昔鄭交南ト云レハ
楚ノクニヘ行。漢皇ト云ニテニテ女
ニアイタリ。皆ウツクキ。服着環珮
タリ。兩ノ珠ノ大。雞ノ卵ノコトシ。交
南コノ玉ヲモラハント云。ニ女ヤガテ解
佩トセタリ。交南受懐ハテ十歩
ホトシテ懐ヲ探シニ玉ヲナウセタリ。
コレギニヲモヒテ。アトヲヒカレハニ女
キ入ウセタリ。此レ勺ハ上ノ兩勺ヲウ
ケタリ。ヒニニヒタルコトニイロク風流
ヲ弄テ。羨女ト契ヲカセシカト云
イ。久トモソカヲモヒニカナハスツニ
タソイフシレカヒイニタ。是心カナハ

也。愜。謂心服也。昔日雙眠恒嬾
夜短。今宵獨卧實怨更長。
種天公。兩般時節。遙聞香氣。
獨傷韓壽之心。
每會聞壽有異香。氣是外國
所貢。一着衣。歷日不散。嘗計
武帝唯賜己及賈充。他家無
此香。嬾壽與己女通者。問左
在。婢具以實對。嘗以女身壽
未婚而亡。滅榮緒。昔書曰。賈

ストナリ。合意ハ註ニ礼記ノ婚義ヲヒ
ク。華竟ハ之レクタシ。コノナリ凡礼ノ
法子父ノ命ヲ兼。女ヲ迎テ降出。出
御婦ノ車ヲ而婚。檢。御輪スルコト
三周先俟。干門外。皆揖婦ス。入共
牢而食。牢ハニエナリ。夫婦トモニムシ
レキテイナリ。合意。而醴。必也。酒ノ
ウンハモノ。鄭氏カ三礼。固ニ四升ヲウ
カ。醴ヲ正。中ヨリワリテ。各一方ヲモ
チユルトナリ。居隱ノ及イ。ガキ。ギニノ
音ナリ。醴ハス。グトヨ。日本ニテ。昏礼
ニ。酌ノ加ノスルニ同法ナリ。ニエモ酒七
フツフ。ニアハセテ。ニコトニタ。キ
ナリ。横陳ハソヒ。ブシト。ニセタリ。註宋

充前妻李氏。生二女。貞淑。美
令。有聲都邑。後妻郭氏。又生
二女。少。有淫行。年十一。三。通
於韓壽。充未之覺也。于時外
國獻奇。中。國所無也。祖實
之。唯以分充。充賜女。其餘不
出。官門。充與韓壽遇。坐。聞其
衣香。心。內疑之。充為家。嚴峻。
重閣。墻高。丈五。薦以。棘。於
此。使登垣。周行。見東北。角上
有。狸鼠。行迹。充潛殺。數。婢。
抑密。不言。使外。訪婚。遂以女
妻壽。又云。郭子。近聽。琴聲。似
韓壽美姿容。

玉肌賦シヒク下見タリ^①上ニスコク
我^②曾^③動^④二^⑤往^⑥文君ニ^⑦アヒ^⑧コタ^⑨秦樓^⑩云

カヒテ弄玉トシハリ^⑪レカ^⑫氏^⑬カク^⑭ノゴト
キソ^⑮美人^⑯モ我^⑰懷^⑱ニ^⑲合^⑳ツカラ^㉑ス^㉒前^㉓

ワカ^㉔コノム^㉕外^㉖ニ^㉗愜^㉘スガ^㉙オ^㉚フト^㉛心^㉜ニ^㉝服^㉞ヲ^㉟
苦^㊱協^㊲及^㊳カ^㊴キ^㊵ガ^㊶ホ^㊷キ^㊸ヤ^㊹ウ^㊺ト^㊻カ^㊼ル^㊽ナ^㊾リ

文君弄玉^㊿上^㊿ニ^㊿ム^㊿コ^㊿ト^㊿ク^㊿タ^㊿ト^㊿ニ^㊿ク^㊿
①上ニイ^㊿ク^㊿コ^㊿ト^㊿ク^㊿マ^㊿ハ^㊿人^㊿ト^㊿ソ^㊿ヒ^㊿ブ^㊿レ^㊿セ^㊿モ

心ニカ^㊿ナ^㊿ハ^㊿子^㊿氏^㊿雙^㊿眠^㊿ニ^㊿夜^㊿ハ^㊿子^㊿ニ^㊿夜^㊿ノ^㊿ミ^㊿カ^㊿キ^㊿ヲ^㊿キ^㊿イ^㊿レ^㊿カ^㊿今^㊿雷^㊿嶺^㊿ト^㊿ハ^㊿更^㊿ノ^㊿長^㊿ヲ^㊿ウ^㊿ラ
ム^㊿ト^㊿ナ^㊿リ^㊿②一^㊿種^㊿ノ^㊿字^㊿兩^㊿般^㊿ノ^㊿字^㊿付^㊿字^㊿ニ^㊿テ^㊿コ^㊿ロ^㊿ナ^㊿リ^㊿種^㊿ハ^㊿ヒ^㊿ト^㊿ト^㊿ム^㊿ニ^㊿テ^㊿ナ^㊿リ^㊿一^㊿天^㊿子^㊿ノ^㊿使^㊿

ウ^㊿ケ^㊿ム^㊿ニ^㊿ハ^㊿リ^㊿石^㊿兩^㊿ヒ^㊿来^㊿ヲ^㊿リ^㊿フ^㊿ニ^㊿三^㊿道^㊿ニ^㊿香^㊿レ^㊿キ^㊿氣^㊿ヲ^㊿キ^㊿テ^㊿獨^㊿轉^㊿高^㊿カ^㊿心^㊿ヲ^㊿イ^㊿タ^㊿ニ^㊿ム^㊿ト^㊿ナ^㊿リ^㊿韓^㊿壽^㊿カ
故^㊿事^㊿ハ^㊿註^㊿ニ^㊿見^㊿タ^㊿リ^㊿郭^㊿子^㊿ガ^㊿曰^㊿陳^㊿寢^㊿身^㊿ニ^㊿ア^㊿ヤ^㊿レ^㊿キ^㊿香^㊿アル^㊿ヲ^㊿聞^㊿オ^㊿ウ^㊿ヘ^㊿ツ^㊿此^㊿香^㊿世^㊿間^㊿ニ^㊿又^㊿アル^㊿モノ^㊿ニ^㊿

テ^㊿ナ^㊿ゴ^㊿レ^㊿ハ^㊿具^㊿以^㊿前^㊿外^㊿国^㊿ノ^㊿エ^㊿ヒ^㊿ス^㊿カ^㊿ニ^㊿ヨ^㊿リ^㊿特^㊿ノ^㊿天^㊿子^㊿武^㊿帝^㊿三^㊿貝^㊿モ^㊿ノ^㊿ニ^㊿シ^㊿テ^㊿名^㊿香^㊿ナ^㊿リ^㊿ゴ^㊿ノ^㊿名^㊿香^㊿ハ^㊿
陳^㊿寢^㊿ト^㊿買^㊿克^㊿ト^㊿ハ^㊿兩^㊿人^㊿ニ^㊿タ^㊿ニ^㊿ワ^㊿ル^㊿也^㊿外^㊿ニ^㊿又^㊿得^㊿人^㊿ナ^㊿レ^㊿陳^㊿寢^㊿ニ^㊿美^㊿ハ^㊿女^㊿アリ^㊿コ^㊿レ^㊿ニ^㊿名^㊿香^㊿ヲ^㊿ト^㊿ラ

對^㊿文^㊿一^㊿君^㊿之^㊿面^㊿見^㊿上^㊿向^㊿來^㊿見^㊿

桂^㊿心^㊿談^㊿話^㊿十^㊿娘^㊿天^㊿上^㊿無^㊿雙^㊿人^㊿

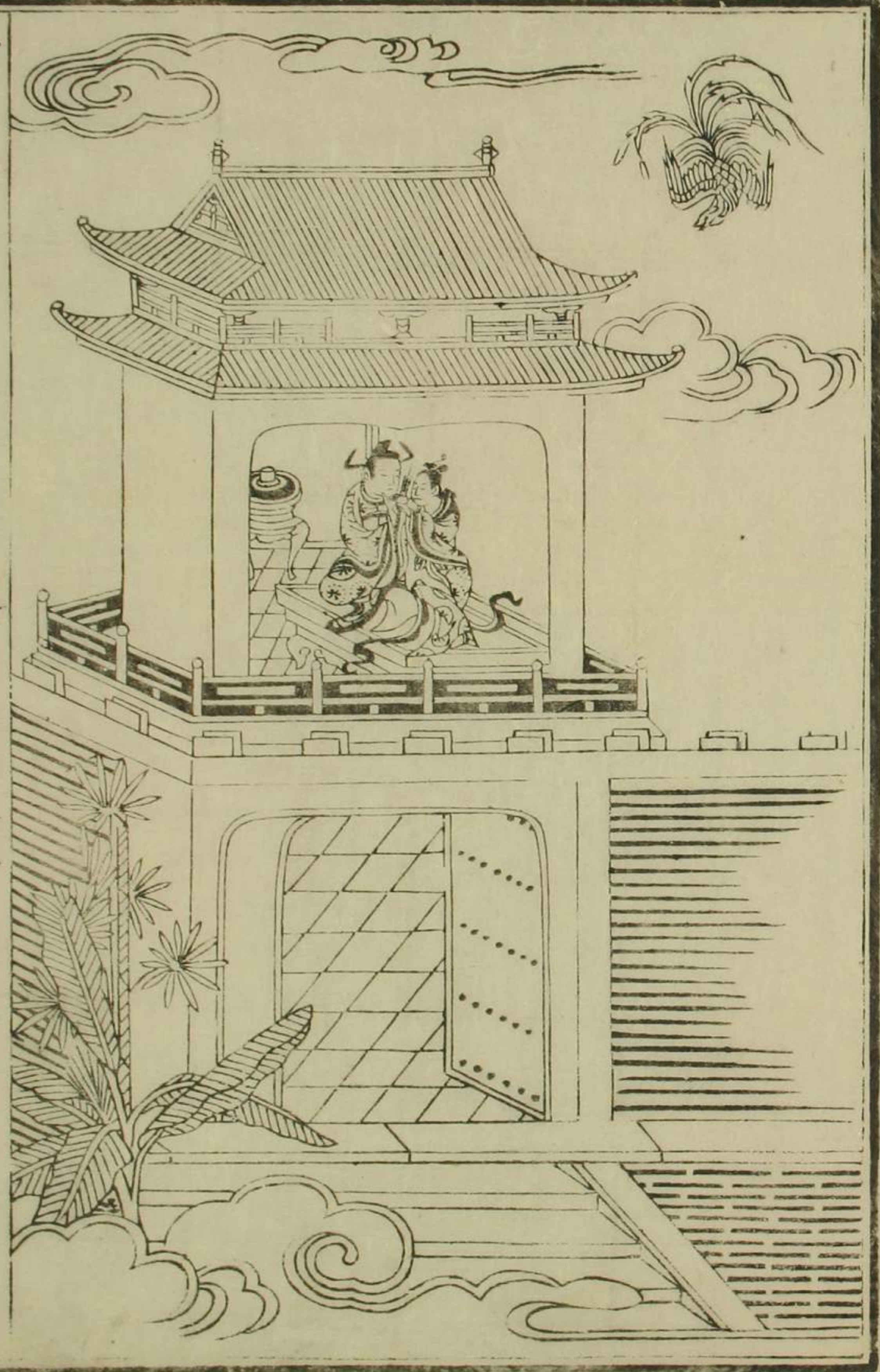
間^㊿有^㊿一^㊿依^㊿弱^㊿柳^㊿東^㊿作^㊿腰^㊿支^㊿

依^㊿一^㊿々^㊿ハ^㊿ハ^㊿弱^㊿貌^㊿毛^㊿詩^㊿采^㊿一^㊿微^㊿章^㊿文^㊿
曰^㊿昔^㊿我^㊿往^㊿矣^㊿楊^㊿柳^㊿依^㊿々^㊿也^㊿

心^㊿ニ^㊿カ^㊿ナ^㊿ハ^㊿子^㊿氏^㊿雙^㊿眠^㊿ニ^㊿夜^㊿ハ^㊿子^㊿ニ^㊿夜^㊿ノ^㊿ミ^㊿カ^㊿キ^㊿ヲ^㊿キ^㊿イ^㊿レ^㊿カ^㊿今^㊿雷^㊿嶺^㊿ト^㊿ハ^㊿更^㊿ノ^㊿長^㊿ヲ^㊿ウ^㊿ラ
ム^㊿ト^㊿ナ^㊿リ^㊿②一^㊿種^㊿ノ^㊿字^㊿兩^㊿般^㊿ノ^㊿字^㊿付^㊿字^㊿ニ^㊿テ^㊿コ^㊿ロ^㊿ナ^㊿リ^㊿種^㊿ハ^㊿ヒ^㊿ト^㊿ト^㊿ム^㊿ニ^㊿テ^㊿ナ^㊿リ^㊿一^㊿天^㊿子^㊿ノ^㊿使^㊿

ウ^㊿ケ^㊿ム^㊿ニ^㊿ハ^㊿リ^㊿石^㊿兩^㊿ヒ^㊿来^㊿ヲ^㊿リ^㊿フ^㊿ニ^㊿三^㊿道^㊿ニ^㊿香^㊿レ^㊿キ^㊿氣^㊿ヲ^㊿キ^㊿テ^㊿獨^㊿轉^㊿高^㊿カ^㊿心^㊿ヲ^㊿イ^㊿タ^㊿ニ^㊿ム^㊿ト^㊿ナ^㊿リ^㊿韓^㊿壽^㊿カ
故^㊿事^㊿ハ^㊿註^㊿ニ^㊿見^㊿タ^㊿リ^㊿郭^㊿子^㊿ガ^㊿曰^㊿陳^㊿寢^㊿身^㊿ニ^㊿ア^㊿ヤ^㊿レ^㊿キ^㊿香^㊿アル^㊿ヲ^㊿聞^㊿オ^㊿ウ^㊿ヘ^㊿ツ^㊿此^㊿香^㊿世^㊿間^㊿ニ^㊿又^㊿アル^㊿モノ^㊿ニ^㊿

テ^㊿ナ^㊿ゴ^㊿レ^㊿ハ^㊿具^㊿以^㊿前^㊿外^㊿国^㊿ノ^㊿エ^㊿ヒ^㊿ス^㊿カ^㊿ニ^㊿ヨ^㊿リ^㊿特^㊿ノ^㊿天^㊿子^㊿武^㊿帝^㊿三^㊿貝^㊿モ^㊿ノ^㊿ニ^㊿シ^㊿テ^㊿名^㊿香^㊿ナ^㊿リ^㊿ゴ^㊿ノ^㊿名^㊿香^㊿ハ^㊿
陳^㊿寢^㊿ト^㊿買^㊿克^㊿ト^㊿ハ^㊿兩^㊿人^㊿ニ^㊿タ^㊿ニ^㊿ワ^㊿ル^㊿也^㊿外^㊿ニ^㊿又^㊿得^㊿人^㊿ナ^㊿レ^㊿陳^㊿寢^㊿ニ^㊿美^㊿ハ^㊿女^㊿アリ^㊿コ^㊿レ^㊿ニ^㊿名^㊿香^㊿ヲ^㊿ト^㊿ラ



セタリ。其女シメス韓壽ト密通シツクセシユニ又此香ヲケテ韓壽ニツカス。故ニ此各香ヲビシユニ陳騫
 ソノニホヒヲキニテ。オアハ我女韓壽ト密通シツクセシトツテ。左右ノ婢女ヲ考カウ問モン入イ實ジツニニ
 白狀クシクス。陳騫スナハチムスヲカンニユニメアワス。カレトモト各コノ婚コン礼レイナキウチニ亡コト滅メイセシトナリ。
 又榮緒エイジツ九ク晋書ニ賈充カ前マヘノ妻メニ。女ヲモウク貞テイ赤セツトヤウキタ。シテウツクシク。美令メイレイレウ
 ツクシカリシカ。シヤコモイナカニモ。ソノナ。カクレナレ後ノチ郭氏クワクシニメアハス。又フタリノムスヲモウク
 ツオナキヨリ。淫行タヘスカタアリ。年十三四ノトキ。韓壽ト密通シツクス。賈充カイニタコレラヌ。時ニ外タ國クニヨ
 リ。奇キ妙ミョウ香コウヲタテニツル中チウ國クニニナキ所ショナリ。コレヲ第一ノ宝タカラトスカル。大オホ切キナル香コウナレ賈充カニ
 ワカチ賜タマヒル。賈充カ又ムスニワカチタ。ソノ餘ヨリハ宮門キウモンライタテス。然シカレニ或レバ特トク賈充カト韓壽カンジュウトタミ
 タニ坐イノカタルガニ。シガキモノニカノ各香コノノ緜カキアリ。賈充カコレヲフキニラモヒウタガフナリ。ソウベツ
 賈充カガ家イヘヲ為シ作法サツポフ。廉レム山サンノキビレクスルナリ。重閣チュウカクトテ。イクエニモ閣カクヲタテナラヘカキタカキ
 コト五丈ゴウサウハカリソノカキノ下シタ。枳キウハハラヲレキテ。ゴトコロニ人ヲニハレキ。ヒレク番バンノモノヲシテ
 シカレナルニ東トウ北ホクノ角カク上ジョウニ。逕テイアリ。イカオ。狸リスノ行迹コトノコトシ。狸リスハカナラスタヌキニカキラ
 ス家ウチ狸リストテ。チコノナリ。猫ネコハ狸リスノタクヒナリ。カドウヲモフヤウハコレハカオラス。狸リスノミニアラ
 ジ人ヒトノカヨウベキ。処トコロナリイカサニガニ。シガ彼カ香コウヲ衣イニトメシ。我ガムスニカヨヒテ。香コウヲワカチト

リシモノナリトカク。ウチノヲシナニ。テヒキセシモノアラントヲモイ。ヒソカニ婢ヒメ女メ。ス人ヒトヲゴロシ
 ノ一ヒトヲ抑オシ。カクシテイハス。ヒソカニ外ソトノ人ヒトヲカタラヒ。レラヌヨレニテ。媒マヒヲ入イル。カニシテ
 メアハセシタルトナリ。又云郭氏クワクシモ。韓壽カンジュウモ。ガタチウルハレキ人ヒトナリ。④文成ブンセイ子シカク。崔女ツイメ即ス
 ン。琴コトテノ声コエヲキサテ。文君ブンクンノ面オモテニ對オモテタル。似ニタリトナリ。ヨレハ前マヘニアル。故ユ夏カニテ。キコヘタリ。カ
 ノ相女ソウメカコトニテ。文君ブンクンヲオソヒシヤウニ。今イマ又マタ崔女ツイメ即スノ琴コトテラ。侷キツハ。心ココロアリゲニテ。此ココ方カタニ。ニ
 ルトナリ。ユレハ只ただ琴コトテノ我ガ心ココロニ和ワシテ。シタフト云イハ心ココロニテナリ。相如ソウジョカ文君ブンクンヲオソシヤウニ。崔女ツイメカ
 文成ブンセイヲオソウニテハナレ。の向來キョウライハ。タニトヨセタリ。オキコトヨハイ。ニノオキコト。様サマ心ココロカ談タン説セツス
 ルヲミルニ。其ソノ方カタノ娘メハ。天アメノ上ウヘニモナレ。ナク。人ヒト間マヘニモタ。ヒトリノニ。テアラシホドナル。羨セン婦フ人ヒトトウ
 ケタニハルトナリ。⑤註ニ依イ々イ柳リウノ風カゼニナヒキテ。依イ々イトシナヤカニ。タラマカナルガゴトシ。東トウテト
 シノタラマカナル。弱ヨク柳リウノ風カゼニナヒキテ。依イ々イトシナヤカニ。タラマカナルガゴトシ。東トウテト
 ハコノヤナキヲ。ツカチタルヤウナル。腰ウサ支シノ字ジハ。オ、エルトヨハ。玉タマ造ゾウ小コ日ジツナ
 トニモ。コノ腰ウサ支シノ字ジヲトリテ。ヨシトヨミ付ツタリ。楊柳ヨウリウニテ。腰ウサヲオ、タルト云イハ心ココロニ見ミハ
 シ。腰ウサト云イハテナリ。腰ウサハ人ヒトノカタチノヲチツク。処トコロナレ。支シテアルヤウナルモノナリ。支シノ字ジ
 ヲオモクミル。バカラズ。コニ腰ウサ支シノヨレバセトヨセタル。ハセトハアリ。オニト云イハ心ココロナリ。コ、ロ

バセ面ハセナドノバセニテ。助語ノコトキモノナリト。ゴロエハ又説ニ支ノ字ハ支射ノ支ノ字
 ニテ。四支トツクハ。手足ナリ。腰モ支射ノヨルトコロナレバ。腰支トツケタリト云ヘリ。正ニ
 カクノゴトクニテ。抵當セリ。コレハ依々ト。對ナリ。コレノタマカナルヲイハ。柳ヲ
 ツカ子ヲコレトナシタルガゴトク。眼尾ノレホラレキヲイハ。横波ノカヒルカ。翻目モトノ波トナ
 リタルカト思ナリ。註ニ楚詞ヲヒク。横波ノ出処ナリ。倣々ハ水ノ微行貌。倣ハ音余。余ノ及
 ハキクケヤイユエ。エントカハルヤ。以前ニ片顔ヲ見ツルガコ。ニ至テ。兩ノ頰ヲ舒テ云リ。今
 トハウチアラハシタルコロナリ。熟トハ思メク。ス心アリ。俗ニ能々ト云ト。心相ニタリ。ヨククミ
 ハ。地ニイロヨクナク。花モコノ崔女郎ノ顔。一比ハナカク。及一ニテナシ。然ユニ。華ナキカトウ
 タカウトイヘリ。下出雙眉トハ。以前片眉ヲコソミツルガコ。ニヲサテ。ナラヘル眉ヲミル。漸ニ天
 邊ニ月ヲ失フコ。チスルナリ。是ハ崔女郎ガ眉目ノヒカリウルハシキ。月ヨリウツクニキナ
 リ。月モナキカトシトナリ。西施ハ註ニアルコトク。越ノ勾踐ト云シ人。吳王ヲ亡シカタス。色ヲ
 ス。メヲ國ニ政ヲ壞ト。アミク羨女ヲモトム。既且縣ノ北ニ羅山ト云処アリ。シノ処ハ新實
 ノ女ニ西施ト云アリ。コレナラビナキ羨女ナリ。コレヲトツテ。吳王ニヤル。吳王ウツケテ。コト
 テ。ツサニ越王ニホロボオル。又宋玉ノ神女ニアヒシ賦ニ。西施面ヲ掩。コレハ色ト云ル。

リ今アコノ文ニ借用。詔。孟施ツノ美人
 毛ヲ崔女ナ娘ヲミルナラバ。ツカガリテ。
 面ヲ袂ニテ掩。カクシモ。タヒカナリ。焼ス
 ツシトナリ。粧ヲ焼ト云ト。ホカハツカガ
 ル躰ヲイリ。我奈ハラナカラ。ムナママ
 ナトトト。相化粧ヲヤキステントモ。
 久ヒニ。ヤキスツレ。未。崔女ナ娘ハヲ
 ヲ。トナリ。焼ト火ニテ。ユトヤクニテ
 分レ心ニテ。見ヘク。註ニ曹植カ南国ニ
 佳人アリ。華ノ容。桃李ノユトト云。詩ヲ
 ヒク。又史記ニ。漢ノ武帝ノトキ。尹夫人邢
 夫人ト。アリク。美婦人アリ。並ナカラ。鞞
 トラレカトモ。詔アツテ。尹夫人ト邢夫人
 ト。タガヒニ相見。ト云ル。オレズ。ルトキ

倣々 横波 翻成眼尾 楚詞曰。目聯而
 横波也。言美人雙眼尾狀似
 水波之交。横波也。倣々水貌。
 水微行ノ貌。纒舒兩頰。熟疑地
 音余。劍ノ反。
 上無華。乍出雙眉。漸覺天邊
 失月。能使西施掩面。百遍燒
 粧。孔。擘。會。藝。記。曰。勾踐索ニ美
 女ヲ獻ス。吳王。得。諸暨縣。北。羅
 山。賣薪ノ女。西施。容貌。美也。掩
 面。遇ニ神女ニ賦。曰。西施掩面。比

山 卷一 七五

尹夫人武帝ニモウスマウ子ガハクハ刑夫人
 之ニシトイリ帝元レ至テ刑夫人ト尹
 夫人トツイニ對面ス尹夫人ガ刑夫人
 見テ我顔色ト思ヒ合スレバ刑夫人容
 容ニ十倍セリ尹夫人コレヲハチテ頭ヲ
 夕レ俛泣ミツカラ其レカナルヲ癩
 トナリ是本文ノ傷心ノ二字ヲ注スル
 ナリ又蜀志ニ張祐人ノ相善見ツ子ニ
 ミツカス鏡ヲ照テ自ガ形ヲ占ル
 其相アレバ分ミヲ地ニテゲウツナリ
 撲音蒲角ノ反ガハクヒカレ又魏
 畧ニ夏侯惇ト云今呂布ヲ征セヨリ
 流矢ノタメニ左ノ目ヲイツブス鏡ヲ元
 コトニ忿怒スハチ地ニテケウツナリ上

之ニ無レ色言ハ西レ施カ美今日見ニ十
 娘百遍焼レ弄其其其恨レ不レ如
 使南國傷心千迴撲鏡帝詩
 又曹植カ詩曰南國ニ有佳人華
 容若桃李史記曰漢武帝時
 尹夫人ト與刑夫人同時並幸
 有詔不レ得見尹夫人自ラ請武
 帝願望刑夫人帝許之尹夫
 人望見之於是低頭俛而泣
 自痛其不レ如也蜀志曰張祐
 善相每自ラ照鏡自ラ知形撲鏡
 於地也撲音蒲角ノ反又云魏
 畧曰夏侯惇從征呂布為流

撲鏡之故夏ナリ言今ノ南國ノ佳
 人今ヨノ崔女即ヲ見スハチ自ラ
 カミニテ其面ヲ照見ゴトニ崔女即
 ノカホニツカホノヲトリテ醜レキツキ
 ラフテガミヲ撲棄ベトナリ撲ハ打
 破ナリ陳志王洛神ノ賦夫々其ノ
 形ノ美ナルヲ云洛ハ洛水上テ水各
 故ニ洛川ト云ラクセント云ツテ洛神
 ヲ含迴雪ハ洛神ノカチノシヤカニ
 衣裳ノ飄飄トヒルガリアリオハ作
 流風ノソヨクカセム雪ヲ迴テチラ
 トスルガコト様ナル迴雪ノ形ノ神
 女ニテモナカノ崔女十娘六及ミレ
 却侍女ツカヒニシテ十娘ガ衣裳ヲ冬

矢所レ中ニ傷左ノ目毎照鏡忿怒
 輒撲於地也言ハ此南國ノ之佳
 人今見ニ此女乃自ラ照見其面
 恨不レ如却自ラ嫌其面之醜惡
 故ニ撲ト弃其鏡洛川迴雪亦堪
 也撲ハ打破也
 使疊衣裳陳思王洛神賦曰
 其形也翩若驚鴻
 婉若遊龍彷彿兮若輕雲之
 弊月飄飄兮若流風之迴雪也
 巫峽仙雲未敢為擎華履宋
 高唐賦曰楚襄王與宋玉遊
 雲夢之臺望高唐之觀上ニ有

三レムルニタヘタリトナリ洛神ノ賦ノ辞
 注ニ見タリ②註ニ宋玉カ高唐ノ賦ヲ
 曰ク楚ノ襄王宋玉ト云夢ト云処ノ夕
 テナニアソル高唐ト云所ノ觀ヲ望
 ニシモノタツキアリ。崑トカクク々々士
 上。タチニチカチヲアラタム襄王宋
 玉ニトクテイハクヨハ何ノ言ソ。宋玉又
 三テモフクヨハ朝雲ト云モノナリ。カ
 レ先王カツテ高唐ニアソビ玉フ。急書
 寢セリソトキ。婦人ヲ夢ニルカ女
 ノイハルウハ巫山ノ女ニテ侍高唐ノ
 客タリ。君カ高唐ニアソクキク子カク
 ハミクラムシヨヲ。薦。庄ニ子ト云玉因サ
 ハイス。玉河ナルモノソトノ玉ハ女ノイハル

雲氣。崑乎直上。忽乎改容。王
 河玉曰。此何氣也。玉對曰。所
 謂朝雲。昔先王夢遊高唐。急
 而晝寢。夢一婦人。曰。巫山之
 女。為高唐之客。聞君遊高唐。
 願薦枕席。王因之幸。白。且為
 朝雲。暮為行雨。朝々暮々。在
 陽臺之下。且朝視之。如言。改
 為立。廟。號曰朝雲祠也。此言
 洛州。迴。雲。巫。峽。仙。雲。此。可。使
 與。十。娘。豐。衣。裳。警。履。耳。說。其
 容。貌。不。及。十。娘。警。舉。也。音。舉
 反。⑤忽。秋。胡。之。眼。拙。枉。黃。金。

且ハ朝雲トナリ暮ニ行雨トナリ朝々暮々ヤウタリノモトナリ且朝ニルニイフ処ノコトヲ西
 タツユヘニタメニ廟ヲタテ。ナツケテ。朝雲祠ト云トナリ。本文ニ巫峽ノ仙雲ハヨシムチウニヘタル
 雲ノ化レ女ナリ。エニ仙ノ字ヲツケテ。仙雲トイハリ。イハルヨシムチウニ巫山ノ神女モ崔女即ニア
 セ。レモヘヨシトナレテ。崔女即カクツトラスベキホトナリタル形トナリ。巫峽モフ山ト云ヨロナリ
 敬手ハ舉ナリ。ゲ。ゲ。ア。クル。ナリ。音。舉。涼。ノ。及。ケ。ケ。ケ。イ。ノ。エ。ゲ。ウ。ノ。ユ。エ。リ。ヨ。レ。エ。ノ。ウ。ト。ツ
 イ。ウ。ナリ。⑥註ニ列仙傳ヲヒク。魯。曾。國。ノ。秋。胡。潔。婦。上。云。美。人。公。曾。ノ。秋。胡。子。ト。云。人。ノ。妻。ナリ
 レ。ウ。ヨ。シ。ハ。初。ア。結。テ。五。日。ニ。陳。ノ。ク。エ。官。ニ。行。五。年。ト。ウ。リ。ウ。レ。テ。ス。十。八。チ。カ。ル。未。至。家。ニ。三。テ。テ
 ワキニエノ美女アリテ。桑ヲ採ヲ見テ。立ヨリテ。イハク。ユ。キ。キ。チ。遠。子。カ。ハ。ク。ハ。ノ。陰。ノ。モ。ト。ナリ。其
 カト共ニ一人食セント云美女クワトツテ。輟。ス。ガ。ク。應。答。秋。胡。子。又。イ。ハク。吾。金。ヲ。有。子。ガ。ハ。ク。ハ。子
 其。方。ニ。與。上。云。美。女。嗜。夫。ト。ゲ。キ。テ。イ。ハ。ク。レ。ク。ワ。ト。リ。紡。績。衣。食。ニ。供。人。ノ。金。ヲ。子。カ。ス。ト。云。秋。胡
 子。セ。ヒ。ニ。ヲ。ス。ズ。イ。エ。ニ。カ。ル。カ。子。ヲ。奉。レ。テ。母。ニ。ヲ。ル。母。ヒ。サ。レ。テ。逢。見。レ。ヲ。言。己。人。レ。テ。ソ。ノ。婦。ヲ。ヨ。テ
 秋。胡。子。ソ。ノ。ヲ。見。レ。ス。十。八。千。向。ク。ワ。ト。リ。レ。モ。ナ。リ。婦。人。ノ。曰。君。家。ヲ。ビ。テ。ト。ク。ツ。カ。フ。五。年。ニ。レ。テ
 二。并。ニ。カ。ル。千。リ。ヲ。ア。ゲ。ス。ミ。ヤ。カ。至。手。ニ。今。エ。キ。ノ。カ。タ。ハ。フ。桑。上。ル。レ。ヲ。ヨ。ユ。レ。孝。ヲ。又。ル。ナ
 リ。母。ヲ。ソ。ス。ル。ハ。不。孝。色。淫。不。子。コ。レ。ヲ。チ。ナ。リ。妻。ヲ。カ。ラ。フ。ギ。フ。カ。タ。ノ。子。ニ。レ。ヒ。ス。レ。ヲ

送仙翁卷

オチテアア多々駭ヒツイテツテ。藪ニユ
 イテツツカラ河ニテゲテ死ストナリ。
 ⑦交甫白玉前ノ註ニミタリガウホト
 モノガニ女ニアヒテヲルモヲモラヒ
 公心ノ狎タルトナリ。公ニ三女自玉ヲア
 タヘシカ。氏フヨロニイレテアトカカリシ
 三玉ウセタリヨレテ虚クトカケリ。自玉
 ニアタルト。白玉ヲモラヒカケラシ心
 ノタワレタルユヘナレク。白玉ヲモライカ
 ケレトナリ。公ハ是レ一過ノ心ナリ。女ハ心
 ハ秋胡交甫ノ二人ムナレク黄金ヲヨ
 日玉ヲ費。コレツラノ女ニヨクシヨ
 ヲテワカナ娘ヲクラシニハカレトナリ
 公ハ只十娘カウツクキカクナ秋胡ガ

列ノ女一傳曰。魯秋胡索婦者魯
 秋胡子カ之妻也。子既納之五
 日。從官於陳。五年乃歸。未至
 家。見路備有美女。方採桑。曰。
 吾行行道遠。願託桑陰。下一
 食。婦人採桑不輟。秋胡子謂
 曰。吾有金。願與女。人曰。嘻。夫
 採桑紡績。以供衣食。不願人
 之金。秋胡子還家。奉金遺母。
 母使人呼其婦。乃向採桑者。
 婦人曰。君辭家遠。仕五年。方
 還。當揚塵疾。至今乃悅。道傍
 婦人。是忘孝也。忘母不孝。色
 淫便。是行也。妾不恐不義。不

ツニ交甫が見タリ。江濱ニ神ニナリ
 上リコレニハノトツイクナリ。下官ハ
 女成ミツカライナリ。タニオカニスグレタ
 ル。グカイニ遊テ。洞マカナル亭ニタヒト
 リヒルトナリ。寓ハ陸法言ガイヒレコト
 ハ寄ト云心ナリ。コトキノ点ハ寓遊
 勝境ニ旅泊。深亭ト云クベシ。イハ
 ナレハ此点モツトモヨシ。音虞樹ノ及サレ
 カキ。キトカハル。泊ハ止ナリ。音傍各ノカハ
 レカハ。ハクトカハナリ。⑧ワレキミヲツカイ
 トシテ。コレニコノスクレタルオカヒニトナリ
 テ。忽ニ神仙ニアク。神仙ハ崔女師ヲ
 イリ。カク美キ神仙ナレハルトソノニ
 ヨヒミタル。タトハ芙蓉ノハナク。洞底ニ

孝ノ子。改娶矣。遂去。念交甫
 東。定自投河死矣。
 之心。狂。虛當白玉。
 者。見上ノ解珮之文也。言ハ秋胡
 交甫ノ二人。虚費黄金及白玉。
 曾不。加。將。贈。我。十。娘。言。十。娘。カ
 美。容。勝。不。如。胡。カ。之。婦。江。濱。ニ。神。也。
 下官寓遊勝境旅泊閑亭。陸
 言曰。寓ノ寄也。音虞樹。忽遇神
 反。泊。止。也。音備。各ノ反。芙蓉生澗底。蓮
 仙不勝迷亂。芙蓉生澗底。蓮

遊仙窟卷一

〇九七八

生シヤウニタヨリモナクテ蓮子ノカナシニ
 ニトニフカシ杉柵ノアツクノ杖トヒトリ
 タアルガ山ノイタキニ出テアヒラモフ
 下ヒニトヲサカルトナリ雀女即ヲコ
 ヒカナシム一段ヲイリ註ニアルゴトクフ
 蓉ハ荷ノ一名ツ子ニ木ノコトクタチノ
 ビテニハニアル芙蓉ニハアラスコレハスイ
 シノハスナリ葉ヲハ荷トイヒ芙蓉葉
 トモイヒ花ハ蓮華ハナヲハ蓮房
 蓮莖モヲハ蓮肉ト云フ蓮子トイフ木
 柄ト云木ノモヲハ相思子ト云此丈カハ
 リタルハ舂トナリ木柄ノモヲハ相思子ト
 イハアヒラモフト云心ニトリ雀女ツヨラ
 ル心ハタ上ハハキスノタヨリナキタニソコニ

子實深木柵出於山頭相思
 日遠芙蓉子曰蓮子生澗底
 生相思子言樹生既在山頭
 其子相思必知日遠相思寄
 意故用喻焉未曾飲炭腹熱
 皆假辭耳
 如燒不憶吞刀腸穿似割言ハ
 今見此ノナ娘乃心中如少熱
 腸如刀割憐念之甚未知何
 計無情明月故々臨窓多事

ハエヨラシカクナリカナシニフカシ美
 蓉ノモヲ蓮子トイハ相思子ニツ
 イレテモチヒテコロヲ寄ニトナリ
 イカシトナレ蓮ノタニハハエ
 テハナナキニナレタレ訪ヒトモナ
 クハヒトリヲチテカナシトナリコ
 トニ蓮ヤウヤクジユクスルトキハヒ
 トリトヒイテニニ間トブ其イキ
 フヒ音アツテハハタキキモノナリ
 コレハコニイラスコトナレ思ヒクフセバ
 アヒハチヤスキモノ蓮子トイハ相思ニ
 ヨクモカナヒタリ本文ニ蓮子ヲカナ
 シトツケタルハ心ヲ以テツケタリ今
 右ニイフコトク蓮子ノミヲカナシト

春風時々動帳愁人對此將
 何自堪空懸欲斷之腸請救
 臨終之命元來不見他自尋
 常無克相逢却交煩惱言我
 來不見一十娘中心尋常乃今
 獲見之後却令我心更生煩惱
 惱是煩惱是亂敢陳心素者
 也言迷狂也
 實幸願照知若得見其光儀

ヨムニハアラス（中）文義ヨクキコエタ
 リ我十娘ヲミテ（念）戀カナルコトハ子
 ニシテ心ヲ火ニテヤキ勝ラツルキ
 ナクカゴトク切ナク立（注）セシカタナ
 シトナリ（注）無情令ロナレシ（注）オサケ
 ナレヨメバワガタメ無契モノナリ月
 モト死情ノモノオナキタナラシス
 コロナキ月カナト故々トエアリガホ
 ニ子タシク（注）独（注）フセ屋ノ窓ニノム
 多夏ハワガヲシ（注）カハスハシタナ
 キ（注）我タメ無安モノナリ風モト多事
 ノウラウエカス古哥（注）ニオモコソハヨハノアラシノアラカラメアナハシタナ（注）模（注）折戸ヤトヨ
 シモ通（注）ハシ（注）愁ル人ト本文ニアルハ文成ミツカライウナリカル月ト風トニダヒシテナニラモツアカ
 タヘシ（注）フキ前ニイフカゴトクハウルキヲノニテオナニキレルコトクハラタラズナレクカケテヤウク

豈敢論其萬（注）一（注）言我カ心ノ中憐
 願得（注）視其光儀豈敢（注）更希冀
 萬中之一（注）為夫婦之道哉言
 不（注）敢（注）書達之後（注）十娘（注）斂色（注）言ハ
 也（注）兵（注）顔色有（注）謂桂心曰（注）向來（注）嬾
 戲相弄（注）真成欲逼人（注）謾語也

贈終ノイノチラスクヒ玉トコイカナレトナリモトヨリソナタ十娘ヲ（注）相（注）ミヌナラハ他モ自モヨノツ
 子ナルキニ無味來相逢（注）テクツテ交（注）ニヤミスツトナリ煩悩ハ註（注）惻（注）然（注）テコロニアルナリ言ハ
 迷狂ナリト居（注）ニイラレスロニカタナキ心ナリ（注）心素ハ註（注）素者實ナリト（注）リ（注）ロニカタナナ心素
 ノコトヲノフルナリ（注）華（注）ニチカハクハ照知メセトナリ照トハ明ハト同心モ（注）ノコソラヒラ（注）ニセクニハハ
 アニナシ（注）萬ニラ論ヤトナリ萬（注）トハ註（注）ノ心夫婦トナルキ（注）萬（注）ノ中（注）ニモ子カウキニテオレウ
 レハア（注）リハカリヲキエハアエテ論スダソノカタキヨ（注）ヲ見セ玉ハ本望タルトナリ（注）コトハ夫婦トナリタケレ（注）任（注）タカクノコト（注）以前（注）本文ニ因以贈書曰余以少ト（注）カカエ（注）コ
 ノ其萬一ト云ニテカ書ノ文ナリ（注）以上ハ文成カ十娘ニツカワセ（注）艷書ノ文ナリカヤウウ（注）ニカ
 ヨハシ（注）テ（注）子（注）十娘斂色（注）レ（注）桂心ニカタツテ（注）イハク（注）イハシ（注）大成ガワレニダソフレテアヒモテアソビトア
 リテ真成トモトヲモツ（注）人ヲセムフロントスト云テイカリシナリ斂色ハ註（注）其顔色（注）嘆容ア
 ルヲ云（注）ト（注）向來トハイハスナハチト云ニラナレ真成ハ註（注）ニ謾ニカタラストアリ實言
 ト云ナリ通（注）トストハ通トハイナヤニラヨ（注）ハムリニサ（注）フロントスト云コトナリ

遊仙窟卷一終

